

## FILE No. 14

## 保健衛生部

1 / 2

ファイルは全23 ファイル、[評価表の見方はFILE No.1](#)にあります。  
 ご覧になりたい[事業名をクリック](#)すると該当事務事業の表にジャンプします

担当課	整理番号	事務事業名称
保健計画課	444	保健衛生部の業務上必要な旅費及び事務費
	451	衛生統計調査等
	452	献血推進のための各種施策
	453	覚せい剤等乱用防止推進のための啓発活動
	454	区・医師会・歯科医師会との連絡会
	455	医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助
	456	地域保健推進協議会の運営
	457	専門研修
	458	かかりつけ医機能推進
	459	かかりつけ歯科医機能支援
	464	災害救急対策
	467	老人保健施設建設助成
	生活衛生課	445
486		環境衛生監視
487		食品衛生監視
488		動物の適正飼養指導
490		畜犬登録
491		医務・薬事監視
健康推進課	460	休日等急病診療
	461	休日等急病診療テレホンセンター
	462	歯科休日急病診療
	463	急病診療調剤事業
	465	障害者（児）歯科診療
	466	家庭訪問歯科診療
	468	健康づくり推進員
	469	地域健康づくり支援事業
	470	健康増進事業
	471	子ども健康教室

次頁

健康推進課つづき

FILE No. 14

保健衛生部

2 / 2

ファイルは全23 ファイル、[評価表の見方はFILE No.1](#)にあります。  
ご覧になりたい[事業名をクリック](#)すると該当事務事業の表にジャンプします

担当課	整理番号	事務事業名称
健康推進課	472	ヘルシーセミナー
	473	地域健康講座
	474	栄養・健康講座
	475	集団給食施設指導
	476	精神保健相談
	477	精神障害者社会復帰訓練
	478	精神保健福祉連絡協議会運営
	480	精神障害者通所授産事業
	483	精神障害者生活支援事業
	484	精神障害者グループホーム助成
	485	精神障害者共同作業所助成
	510	健康手帳交付
	511	生活習慣病教室
	512	乳がん教室
	513	骨の健康クリニック
	514	胃がん検診
	515	子宮がん検診
	516	肺がん検診
	517	乳がん検診
	518	大腸がん検診
	519	喉頭がん検診
	520	高年者健康診査
	521	成人健康診査

前頁

保健計画課 / 生活衛生課 / 健康推進課 Top

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健衛生部の業務上必要な旅費及び事務費				整理番号		444				
所属名		保健衛生部保健計画課庶務係		コード	150101		上位施策名(コード)					
予算事務事業名		保健衛生部一般管理		コード	40400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する					
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 51 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区組織条例						
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 保健衛生部全職員及び各種大会・学会参加職員(専門職のみ)		杉並区組織規則						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			保健衛生部全職員の一般旅費と各種大会・学会参加職員の旅費及び事務費の計上、事業概要「杉並の保健衛生」の作成。		事業概要及び年報の作成に関する基準						
	活動指標名					各種大会・学会参加回数				事業概要発行回数		
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			各種大会・学会への参加による専門知識の向上を図る事業概要を配布することにより、保健衛生部の業務内容及び活動状況を広く周知する		成果指標名				学会・大会参加人数÷参加予定人数			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか												
公衆衛生に関する専門分野の知識を職員が習得することで、区民サービスの向上と保健衛生部職員の意識の啓発が行える。 事業概要の発行により、保健衛生施策の定数や各種統計をお知らせし、現状とこれからの課題を認識してもらう。												
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%				
				計画	実績	計画	15年度					
指標	活動指標		回	23	23	11	0	11	47.8			
	活動指標		回	1	1	1	1	1	100.0			
	成果指標		%	100	100	48		48	100.0			
	成果指標											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,086	11,567	10,720	8,034	8,034	133.4			
	職員数(正規 非常勤)		人	14.98	0.00	17.38	0.00	27.89	0.90	26.89	0.00	特記事項 評価対象事務事業に該当しない事務(庶務、国・都との連絡調整事務、都への経由事務等)については、経費及び人員を当該事務事業に計上しているため、実情にそぐわない数値となる。 成果指標 各種大会・学会実施回数 10年度実績=23回 11年度計画=23回 実績=11回 12年度計画= 0回
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	135,389	157,080	252,070	243,032				
		非常勤職員分		千円	0	0	2,804	0				
	総事業費		千円	148,475	168,647	265,594	251,066					
	単位あたりコスト		千円	6,455	7,332	24,145	#DIV/0!					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				
		その他特定財源		千円	0	0	0	0				
差引:一般財源		千円	148,475	168,647	265,594	251,066						
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			各種大会・学会の参加については、毎年度開催地が異なるため、かかる旅費額が変動するが、その開催回数については変更はない。(年度間に23回程度開催)その他、一般旅費・職員標準事務費等については、例年大きな変動はない。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			事業予算が職員対象であるため、住民からの要望は特にない。								
	今後の予測			各種大会・学会については、今後も継続して開催していくものと思われる。事業概要の発行については、12年度に印刷形態の変更を行う予定のほかは、大きな変更はない。								

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		献血推進のための各種施策				整理番号	452				
所属名		保健衛生部保健計画課庶務係		コード	150101		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		保健事業の推進		コード	41400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 53 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区献血推進協議会設置要綱						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 16歳以上の区内在住・在勤・在学者		献血の推進について(昭和39年8月21日閣議決定)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		献血推進協議会の開催及び運営を行う 献血推進のための啓発ポスターを送付する 献血推進キャンペーンと区役所庁舎内での献血を実施する		献血の推進対策について(昭和39年8月22日厚生省薬務局長通達)						
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		献血者数が増加する。		活動指標名				献血推進啓発ポスター掲示枚数 区役所庁舎内献血実施者数		
成果指標名				区内献血目標(予定)者数のうち、実際に献血した人数の割合							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
人工的に製造できない輸血用血液及び血液から製造される血液製剤の需用と供給のバランスを保つことができる。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
				計画	実績	計画	12年度				
指標	活動指標		件	3,300	3,300	3,207	3,300	3,300	97.2		
	活動指標		人	189	240	175	180	180	97.0		
	成果指標		%	92	100	116	100	100	116.0		
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	899	698	323	339				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.00	0.40	0.00	0.30	0.00	特記事項 成果指標 10年度 ・計画=4,800人 ・実績=4,432人 11年度 ・計画=5,015人 ・実績=5,818人 12年度 ・計画=6,517人	
	人件費	職員分(超勤加分含む)		千円	3,615	3,615	3,706	2,711			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	4,514	4,313	4,029	3,050				
	単位あたりコスト		千円	1	1	1	1				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			
		その他特定財源		千円	0	0	0	0			
差引:一般財源		千円	4,514	4,313	4,029	3,050					
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		献血推進協議会の開催及びその他の各施策については、大きな変化はない。 ・献血推進協議会開催回数=年2回(うち部会=1回) 平成10~12年度 ・夏季キャンペーン開催回数=年1回 ・ポスター送付枚数=夏季・冬季で約3,300枚								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		献血推進協議会の事務局は保健衛生部保健計画課、献血推進協議会委員の選出母体である杉並区赤十字奉仕団の事務局は厚生部福祉課で行っている。 杉並区赤十字奉仕団出身の献血推進協議会委員から「同じ献血関係事業なので、事務局を統合できないか」という要望がある。								
	今後の予測		採血計画人数から見た採血実績人数は増加しているものの、夏季と冬季には採血人数が減少している。								

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		覚せい剤等乱用防止推進のための啓発活動				整理番号		453			
所属名		保健衛生部保健計画課庶務係		コード		150101		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		保健事業の推進		コード		41400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 55 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施要領					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			覚せい剤等薬物乱用防止のために、覚せい剤等乱用防止推進杉並地区協議会と協力し、駅頭等で啓発キャンペーン(パネルの展示、チラシ、ティッシュペーパー等の配布)を行う。		活動指標名				啓発キャンペーン実施回数 チラシ配布枚数	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			区民等が、覚せい剤等薬物に関する正しい知識を持ち、薬物乱用の恐ろしさや危険性を理解することにより、薬物乱用防止の必要性を認識する。		成果指標名					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 家族ぐるみ、地域ぐるみで薬物の乱用を防止し、健全な地域社会の形成を図る。											
区分		単位	10年度実績		11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
					計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		回数	3	3	3	3				
	活動指標		枚	3,000	3,000	3,000	3,000				
	成果指標										
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	45	50	48	42				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,808	1,808	1,898	1,808			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	1,853	1,858	1,946	1,850				
	単位あたりコスト		千円	618	619	649	617				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			
		その他特定財源		千円	0	0	0	0			
差引:一般財源		千円	1,853	1,858	1,946	1,850					
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			覚せい剤事犯検挙人員(都内) S55 3,205人 S60 3,336人 H2 1,530人 H7 2,761人 H11 2,633人 全国的には、昭和59年をピークとする「第2次覚せい剤乱用期」を経て、平成7年以降再び検挙人員が増加に転じ現在に至っているが、東京都もほぼ同様の推移を示している。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)										
	今後の予測			平成11年の覚せい剤の押収量が過去最高となるなど、依然として警戒を要する状況にあり、今後の拡大が危惧される。 また、中学・高校生の検挙者の増加に見られるように、青少年への薬物乱用が一層拡大する恐れがある。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区・医師会・歯科医師会との連絡会				整理番号	454			
所属名		保健衛生部保健計画課庶務係		コード	150101		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		保健事業の推進		コード	41400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業				
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区保健連絡会設置要綱						
対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区医師会 杉並区歯科医師会		杉並区歯科衛生連絡会設置要綱						
事務事業の概要	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名						
	杉並区医師会との間で開催する保健連絡会を年11回、杉並区歯科医師会との間で開催する歯科衛生連絡会を年4回の割合で開催する。			保健連絡会開催回数						
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名						
	保健連絡会、歯科衛生連絡会を開催することにより、諸課題の解決や連絡調整機能を充実させる。			(代)保健連絡会開催回数						
			(代)歯科衛生連絡会開催回数							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
保健連絡会、歯科衛生連絡会を開催することにより、医師会及び歯科医師会との間で、保健衛生事業の円滑な推進と保健医療情報の迅速な連絡体制を確立する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		回	11	11	11	11			
	活動指標		回	2	4	2	4			
	成果指標		回	11	11	11	11			
	成果指標		回	2	4	2	4			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	3	0	9	特記事項		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.00	0.20	0.00		0.20	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,808	1,808	1,898		1,808	
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0	
	総事業費		千円	1,808	1,811	1,898	1,817			
	単位あたりコスト		千円	164	165	173	165			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0	
		その他特定財源		千円	0	0	0		0	
		差引:一般財源		千円	1,808	1,811	1,898		1,817	
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			各種連絡会の開催回数についての変動はない。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			特になし。						
	今後の予測			現状の施策に関して、今後大きな変動はない。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助				整理番号		455	
所属名		保健衛生部保健計画課庶務係		コード		150101		上位施策名(コード)	
予算事務事業名		保健事業の推進		コード		41400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区健康保持事業補助金交付要綱				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区医師会、杉並区歯科医師会・杉並区薬剤師会、杉並区歯科技工士会、杉並区接骨師会		医療技術研修補助金交付要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業対象団体が実施する区民健康保持事業、医療技術研修事業、看護高等専修学校運営事業等に対し、補助金を支払う。		活動指標名		補助金申請数		
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		医師会・歯科医師会・薬剤師会が実施する健康保持事業を支援することにより、区民の健康保持増進等を図る。歯科技工士会・接骨師会が実施する医療技術研修事業を支援することにより、会員の資質向上等を図る。医師会附属看護高等専修学校の運営経費の一部を補助することにより、看護職員の確保等を図る。		成果指標名		全開催事業のうち区民参加が可能な事業数		
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
補助を実施することにより、食中毒問題や高齢者の医療問題、薬についての講演会等の実施やリーフレットを作成し、区民の健康に関する知識を高め、健康の増進に効果がある。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標	件	7	7	7	7			
	活動指標								
	成果指標	件	19	19	19	19			
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	9,295	9,295	9,295	8,620			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.20	0.00	0.20	0.00	0.21	0.00	特記事項 補助額 ・区民健康保持事業 医師会 = 3,300,000円 歯科医師会 = 1,400,000円 薬剤師会 = 500,000円 ・医療技術研修事業 歯科技工士会 = 220,000円 接骨師会 = 220,000円 ・医師会看護学校 = 2,000,000円 ・地域医療連携推進事業 = 1,655,000円
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,808	1,808	1,898	1,808		
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費	千円	11,103	11,103	11,193	10,428			
	単位あたりコスト	千円	1,586	1,586	1,599	1,490			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		
		その他特定財源	千円	0	0	0	0		
差引:一般財源		千円	11,103	11,103	11,193	10,428			
受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢社会への移行や医療費の増大等を背景に、保健医療分野の各施策は各種疾病の早期発見・早期治療から「予防」に重点が置かれてきている。また、現在では健康に関する意識や関心が増え、健康づくりの情報や施策に対するの需要が増大している。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。							
	今後の予測	補助交付団体に変更がない限り、大きな変化はない。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域保健推進協議会の運営				整理番号	456		
所属名		保健衛生部保健計画課庶務係		コード	150101	上位施策名(コード)			
予算事務事業名		保健事業の推進		コード	41400	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区地域保健推進協議会設置要綱				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		特別区における地域保健医療計画推進協議会設置・運営指針				
	区民(委員対象:学識経験者、区内各種団体の推薦委員、公募委員)								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区地域保健推進協議会の開催及び運営に関する事務を行う。		活動指標名				協議会開催回数
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		杉並区における地域保健推進施策及び保健所の運営等について、各団体(区民)の代表である委員により課題等を協議することで、区民の健康の保持・増進を図る。		成果指標名				協議(議題)件数	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		各種の地域保健施策及び保健所の運営等について、委員を通じ、区民の意見を幅広く聴く事ができる。							
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		回	2	4	3	2		
	活動指標								
	成果指標		件	12	20	18	12		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	342	821	545	407		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,711	2,711	2,802	2,711	特記事項
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	3,053	3,532	3,347	3,118		
	単位あたりコスト		千円	1,527	883	1,116	1,559		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	
		その他特定財源		千円	437	821	603	0	
		差引:一般財源		千円	2,616	2,711	2,744	3,118	
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年度に、保健所運営協議会を廃止し、保健所運営協議会、健康づくり推進協議会の性格を併せ持つ杉並区地域保健推進協議会を設置した。以前に比べ、近年の医療技術の進歩、新感染症の出現、区民の健康に関する関心の高まりなど、保健所が中心となって行う各施策の重要性は、ますます大きくなっている。						
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		各委員からは、地域保健医療計画、区民健診、精神保健、健康づくり施策等について、貴重な意見を頂戴している。						
	今後の予測		健康都市構想を盛り込んだ杉並区21世紀ビジョンの策定に伴い、今後当会議の重要性はますます大きくなっていく。						



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		災害救急医薬品等の整備				整理番号	464																																																																																																																																							
所属名		保健衛生部保健計画課庶務係		コード	150101	上位施策名(コード)																																																																																																																																								
予算事務事業名		災害救急対策		コード	42200	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する																																																																																																																																								
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 54 年度		根拠法令等																																																																																																																																								
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 災害対策基本法																																																																																																																																								
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 災害時に医療救護所等に搬送されてきた負傷者等		災害時の医療救護活動に関する協定(医師会等)																																																																																																																																								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			区立小・中学校に配備している災害救急医薬品及び衛生資材の管理、入替及び滅菌(災害救急7点セット、ミニセット、接骨セット及び助産セットの4種類)		活動指標名																																																																																																																																								
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			負傷者に対して、応急処置等適切な医療救護を行う。		成果指標名																																																																																																																																								
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか																																																																																																																																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">10年度実績</th> <th colspan="2">11年度</th> <th rowspan="2">12年度</th> <th rowspan="2">目標値</th> <th rowspan="2">目標値に対する11年度の達成率%</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">指標</td> <td>活動指標</td> <td>セット</td> <td>71</td> <td>75</td> <td>75</td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">総事業費・コスト把握</td> <td colspan="2">事業費</td> <td>千円</td> <td>21,480</td> <td>13,748</td> <td>13,748</td> <td>11,162</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">職員数(正規 非常勤)</td> <td>人</td> <td>0.40</td> <td>0.40</td> <td>0.41</td> <td>0.40</td> <td rowspan="8">特記事項 平成11年度から災害救急7点セットと小学校のミニセットの入替・滅菌等を廃止した。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>職員分(超勤分含む)</td> <td>千円</td> <td>3,615</td> <td>3,615</td> <td>3,706</td> <td>3,615</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員分</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総事業費</td> <td>千円</td> <td>25,095</td> <td>17,363</td> <td>17,454</td> <td>14,777</td> </tr> <tr> <td colspan="2">単位あたりコスト</td> <td>千円</td> <td>353</td> <td>232</td> <td>233</td> <td>591</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源</td> <td colspan="2">受益者負担分</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他特定財源</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">差引:一般財源</td> <td>千円</td> <td>25,095</td> <td>17,363</td> <td>17,454</td> <td>14,777</td> </tr> <tr> <td colspan="2">受益者負担比率</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業を取り巻く環境</td> <td colspan="3">開始当初から現在までの変化</td> <td colspan="4">平成7年の阪神・淡路大震災以降、災害時の救急医療体制の整備が求められている。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)</td> <td colspan="4">平成7年の阪神・淡路大震災後5年が経過し、大震災直後に比べると直接の要望数は減少しているが、引き続き災害時の救急医療活動に対する住民の期待は高い。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">今後の予測</td> <td colspan="4">災害に備えた救急医薬品等の整備は、継続的に行う必要がある。</td> </tr> </tbody> </table>								区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	計画	実績	指標	活動指標	セット	71	75	75	25		活動指標							成果指標							成果指標							総事業費・コスト把握	事業費		千円	21,480	13,748	13,748	11,162		職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.40	0.41	0.40	特記事項 平成11年度から災害救急7点セットと小学校のミニセットの入替・滅菌等を廃止した。	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,615	3,615	3,706	3,615	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	総事業費		千円	25,095	17,363	17,454	14,777	単位あたりコスト		千円	353	232	233	591	財源	受益者負担分		千円					その他特定財源		千円					差引:一般財源		千円	25,095	17,363	17,454	14,777	受益者負担比率		%						事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成7年の阪神・淡路大震災以降、災害時の救急医療体制の整備が求められている。				事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			平成7年の阪神・淡路大震災後5年が経過し、大震災直後に比べると直接の要望数は減少しているが、引き続き災害時の救急医療活動に対する住民の期待は高い。				今後の予測			災害に備えた救急医薬品等の整備は、継続的に行う必要がある。			
区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%																																																																																																																																							
			計画	実績																																																																																																																																										
指標	活動指標	セット	71	75	75	25																																																																																																																																								
	活動指標																																																																																																																																													
	成果指標																																																																																																																																													
	成果指標																																																																																																																																													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	21,480	13,748	13,748	11,162																																																																																																																																							
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.40	0.41	0.40	特記事項 平成11年度から災害救急7点セットと小学校のミニセットの入替・滅菌等を廃止した。																																																																																																																																						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,615	3,615	3,706	3,615																																																																																																																																							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0																																																																																																																																							
	総事業費		千円	25,095	17,363	17,454	14,777																																																																																																																																							
	単位あたりコスト		千円	353	232	233	591																																																																																																																																							
	財源	受益者負担分		千円																																																																																																																																										
		その他特定財源		千円																																																																																																																																										
差引:一般財源		千円	25,095	17,363	17,454	14,777																																																																																																																																								
受益者負担比率		%																																																																																																																																												
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成7年の阪神・淡路大震災以降、災害時の救急医療体制の整備が求められている。																																																																																																																																										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			平成7年の阪神・淡路大震災後5年が経過し、大震災直後に比べると直接の要望数は減少しているが、引き続き災害時の救急医療活動に対する住民の期待は高い。																																																																																																																																										
	今後の予測			災害に備えた救急医薬品等の整備は、継続的に行う必要がある。																																																																																																																																										

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		老人保健施設建設助成				整理番号		467				
所属名		保健衛生部保健計画課庶務係		コード	150101		上位施策名(コード)					
予算事務事業名		老人保健施設建設助成		コード	42601		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する					
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 6 年度		根拠法令等							
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例 杉並区老人保健施設整備費補助要綱							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内に老人保健施設を設置する医療法人等									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		医療法人その他厚生大臣が定めた者が開設する老人保健施設の整備について、費用の一部を補助する。		活動指標名 補助申請件数							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		老人保健施設の整備促進を図ることで、高齢者の療養環境及び福祉の向上を図る。		成果指標名 区民枠ベッド数(90床)のうち確保されたベッド数							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 当該施設を利用したい区民のために、ベッド90床分が確保される。												
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%				
				計画	実績	計画	年度					
指標	活動指標		件	1	1	1	0					
	活動指標											
	成果指標		床	50	90	90	0					
	成果指標											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	160,000	128,000	128,000	0					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30   0.00	0.30   0.00	0.31   0.00	0.00   0.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤加分含む)		千円	2,711	2,711	2,802	0	平成10・11年度実施事業 平成10年度 = ベッド50床分 平成11年度 = " 40床分			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				
	総事業費		千円	162,711	130,711	130,802	0					
	単位あたりコスト		千円	162,711	130,711	130,802	#DIV/0!					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0				
		その他特定財源		千円	0	0	0	0				
		差引:一般財源		千円	162,711	130,711	130,802	0				
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		老人保健施設の需用は社会状況に応じ高まってきているが、その数は依然として不足している。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特になし。									
	今後の予測		当該施設に対する補助は平成11年度で終了したが、最終的な事業の終期は、平成11年度介護保険事業計画で設定された老人保健施設の目標数を達成した時点とする。 なお、当該事業は平成11年度より、高齢者福祉部計画推進課に移管されている。									

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健所等維持管理			整理番号		445	
所属名		保健衛生部生活衛生課管理係		コード	150231		上位施策名(コード)	
予算事務事業名		保健所等維持運営		コード	40600		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する	
事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		地域保健法・同施行令				
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 乳児から高齢者までの、保健所及び保健医療センター利用者		杉並区保健所設置条例				
				杉並区立保健医療センター条例・同施行規則				
事務事業の概要	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名				
	保健所等の庁舎管理及び備品の修繕・設備の保守委託			建物面積㎡				
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名				
			各設備の保守を行うことにより、安全で快適な施設・環境を提供する			不具合件数		
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	年度	
指標	活動指標		㎡		6,426.13	6,426.13	6,426.13	
	活動指標							
	成果指標		件		0	25	15	
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費		千円		167,770	154,053	113,251	
	職員数(正規 非常勤)		人		0.90	0.90	0.90	特記事項 平成11年4月竣工開始 延床面積6426.13㎡ 平成12年度は、C R 回線使用料・画像診断装置賃借料等の事業費52,390千円が他課に移行したため、生活衛生課の事業費が減額になる
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	8,134	8,134	8,134	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	0	175,904	162,187	121,385	
	単位あたりコスト		千円		27	25	19	
	財源	受益者負担分	千円		0	0	0	
		その他特定財源	千円		670	447	586	
		差引:一般財源	千円	0	175,234	161,740	120,799	
受益者負担比率		%		0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			施設維持の為にメンテナンス経費が、建設1年目に比較して増大している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			施設内外に案内標識がなく分かりづらい				
	今後の予測			建設1年目は各設備の保障期間中であり、修繕費は0円であったが、保障期間終了に付随して、修繕費等の経費が増大する				

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境衛生監視				整理番号		486	
所属名		保健衛生部生活衛生課		コード		150231		上位施策名(コード)	
予算事務事業名		環境衛生監視		コード		42800		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度		根拠法令等				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 理美容師法、クリーニング業法、公衆浴場法、旅館業法等 水道法、ビル管理法、環境衛生指導指針等 プール条例、コインランドリー要綱等				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	環境衛生関係事業者、営業施設利用区民。共同住宅等建築物管理者居住者、井戸所有者。								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		環境衛生営業施設の許認可、衛生指導、講習会の開催等。建築物の室内環境調査指導等及び飲料水の安全確保		活動指標名 営業施設の指導数(講習会参加施設含む) 住居衛生に関する相談指導数				
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		区民の生活に欠かせない営業施設の衛生水準を向上させ、安心して利用できる施設とする。安全な居住環境の実現や飲料水の供給により、健康で快適な住まいを確保する。		成果指標名 立入指導数/営業施設数  室内環境汚染に関する相談に対する住宅調査戸数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 区民を取り巻く環境や生活諸条件の整備を実施することにより、区民の健康を確保する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	17年度		
指標	活動指標	件	1,645	847	2,471	720			
	活動指標	件	12,949	776	782	780			
	成果指標	件	1,459	2,068	1,978	2,000	10,000	19.8	
	成果指標	戸	161	50	99	50	500	19.8	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,341	4,167	3,590	2,612	12,990		
	職員数(正規 非常勤)	人	9.90	9.90	9.90	9.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	89,476	89,476	89,476	81,342		特記事項 活動指標の11年度実績数値はいわゆるカリスマ美容師問題による関係施設への対入り調査数増。活動指標の10年度実績数には、井戸調査数を含む。
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費	千円	92,817	93,643	93,066	83,954			
	単位あたりコスト	千円	56	111	38	117			
	財源	受益者負担分	千円						
		その他特定財源	千円	3,412	4,114	3,183	3,384		
差引:一般財源		千円	89,405	89,529	89,883	80,570			
受益者負担比率	%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		社会状況の変動(例えば、化学物質による室内環境汚染、O157・クリプトスポリジウム・トリハロメタン等による水質汚染、いわゆるカリスマ美容師等に対する国の動き)により新しい事例・対策が生じ、これらに対応して事業を変化させる必要がある。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		区民ニーズは社会の動きに敏感であり、マスコミ等に事例が取り上げられるとすぐに対応を求められる。しかし、検査の器材や手法等すぐには対応できない場合が多い。						
	今後の予測		飲料水の安全確保を含む住居衛生事業は、国が新たな化学物質等について環境基準を設置する作業を行っており、今後も内容を充実していく必要がある。また、理美容所等の消毒方法の変更も行われる予定になっており、営業施設へのさらなる指導が必要となる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		食品衛生監視			整理番号		487			
所属名		保健衛生部生活衛生課		コード	150231		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		食品衛生監視		コード	43000		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 23 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		食品衛生法				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 食品関係営業者、営業施設、営業施設利用者及び区民		食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			飲食に起因する衛生上の危害の発生防止と衛生知識向上を目的として、法及び条例に基づき許可・監視・検査・講習会等を実施している。		食品製造業等取締条例				
	活動加指標名			食品関係営業施設の監視指導件数		食品衛生講習会実施件数				
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			飲食に起因する衛生上の危害発生を防止するとともに、区民の食品の安全性に対する不安を取り除き、安全で健康的な食生活を確保する。		成果指標名					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか			区民の健康危機管理を確かなものにし、食生活を通して区民が安心して暮らせるまちづくりに寄与する。		全福祉・教育関係給食(食事)提供施設における衛生管理点検票(HACCP方式)63項目の平均適合率(%)					
					区内施設(家庭を含む)による苦情及び食中毒の件数					
区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
			計画	実績						
指標	活動指標	件	26,273	25,502	24,714	24,731				
	活動指標	回	263	166	299	194				
	成果指標	%	86	90	90	93				
	成果指標	件	117	105	129	105				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,675	5,187	5,408	4,266			
	職員数(正規 非常勤)		人	21.87	21.00	21.58	21.00	特記事項 ・活動指標の計画数値は、それぞれ各年度2年前までの過去5年間の平均値。 ・成果指標について、全福祉・教育関係施設数172施設(平成12年度現在) ・成果指標の11年度実績は、苦情126件、区内施設による食中毒件数3件。11年度計画値は前年度実績の9割として算定。12年度計画は11年度計画値を用いた。		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	197,661	189,798	195,040	189,798			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	205,336	194,985	200,448	194,064			
	単位あたりコスト		千円	8	8	8	8			
	財源	受益者負担分	千円	0	2,900	3,011	0			
		その他特定財源	千円	23,185	16,347	16,357	12,171			
差引:一般財源		千円	182,151	175,738	181,080	181,893				
受益者負担比率		%	0.0	1.5	1.5	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区民の食生活環境は大きく変化した。O157等の新興感染症などの勃興、輸入食品の増大による食品添加物や残留農薬の問題、科学技術の進歩による遺伝子組換え食品等の出現など、食品の安全性への新たな課題が増加している。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		保健所機能強化のために実施している過去3年間の区民の実態調査の中で、行政に対する保健施策の要望では、「食品の監視や安全指導」が、構成比で11.3%(N=1,158)、13.5%(N=1,162)、11.5%(N=944)と常に上位3位を占めており、区民の食品への安全性に関する高まりが示されている。							
	今後の予測		多種多様な食品が満ち溢れ、食生活が便利になる一方、O157や川村等々の新興・再興感染症の勃興や国際化の進展による輸入食品の増加、科学・生産技術の進歩による遺伝子組換え食品等新たな食品の登場、化学物質への不安から食品の安全性が一層求められることが考えられる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		動物の適正飼養指導				整理番号		488		
所属名		保健衛生部生活衛生課		コード	150231		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		動物の適正飼養		コード	43200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成	年度				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他							
	犬・猫飼養者 区民									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		動物の適正飼養の普及啓発 〔冊子、広報紙、プレート、相談(獣医師会委託含む)〕 犬のしつけ方教室							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		動物の適正飼養の指導及び相談を通し、愛護の理解を深めてもらう		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 動物の保護及び管理に関する法律 東京都動物の保護及び管理に関する条例						
活動指標名		適正飼養冊子作成 苦情、相談受付件数								
成果指標名		(代)犬のしつけ方教室受講者    30人  (代)適正飼養普及・啓発プレート    1300枚								
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
区分		単位	10年度 実績	11年度		12年度 計画	目標値 年度	目標値に対する11 年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標		冊	9,000	9,000	9,000	9,000			
	活動指標		件	1,234	1,300	1,428	1,500			
	成果指標		人	0	30	30	60			
	成果指標		枚	1,300	1,300	1,300	1,300			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,825	1,993	1,836	1,678			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.25	1.25	1.25	1.25	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,298	11,298	11,298	11,298		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	13,123	13,291	13,134	12,976			
	単位あたりコスト		千円	1	1	1	1			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
差引:一般財源		千円	13,123	13,291	13,134	12,976				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年、犬猫は人生の伴侶動物として、人の生活を精神的に支えるのに不可欠な存在となっている 住宅環境の変化により鳴き声、臭い、飼い方等近隣とのトラブルがふえている							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		犬の放し飼い、散歩時のフンの放置に対する飼い主へ罰則 ホームレス猫の対策							
	今後の予測		普及啓発、指導を進めいても飼養者のモラルによるところが大であるため、苦情等減少することは難しい							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		畜犬登録		整理番号		490			
所属名		保健衛生部生活衛生課		コード		150231			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
動物の適正飼養		コード		43200					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成		年度		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						
	犬の飼養者								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		畜犬登録事務 狂犬病予防集合注射 未登録・未注射犬に対する督促						
活動指標名		台帳保有数 未登録・未注射犬督促							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		飼い犬の把握及び、狂犬病の発生を予防し公衆衛生の向上を図る							
成果指標名		鑑札登録頭数 ÷ 台帳保有数  狂犬病予防注射実施頭数 ÷ 台帳保有数							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		件	12,613	12,700	14,086	14,100		
	活動指標		件	5,063	4,500	4,486	4,300		
	成果指標		%	86	90	88	90		
	成果指標		%	80	80	73	80		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,969	1,937	1,831	1,857		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.25	1.35	1.35	1.35	特記事項 指標名欄にある台帳保有数は鑑札・注射済票の両方とも登録がある台帳 鑑札だけ登録がある台帳 注射済票だけ登録がある台帳 上記 ~ をあわせたものである	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	11,298	12,201	12,201		12,201
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	13,267	14,138	14,032	14,058		
	単位あたりコスト		千円	1	1	1	1		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円	5,524	5,555	5,622		9,318
差引:一般財源		千円	7,743	8,583	8,410	4,740			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		狂犬病予防法の改正により、昭和60年度から狂犬病予防注射は従来年2回が1回に、平成7年度から犬の登録は、毎年度登録が生涯に1回となった						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・集合注射会場近隣から、会場に集まる犬のフン・鳴き声等に関する苦情 ・昭和32年以降、日本では狂犬病は発生していないのになぜ注射は、いまだ法律で義務づけるのか						
	今後の予測		輸入動物の多様化により、狂犬病発生の危険があるので、今後も引き続き予防注射は必要である						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		医務・薬事監視				整理番号		491		
所属名		保健衛生部生活衛生課管理係		コード	150231		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		薬事監視		コード	43300		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		薬事法					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		毒物及び劇物取締法(平成12年度より新規事務移管)					
	医薬品等販売業者、毒物劇物販売業者(平成12年度より地方分権により事務執行)				有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律(同上)					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		医薬品や毒劇物などの販売業者に対し、施設に立入検査を実施するとともに、資料配布による伝達講習を実施し、医薬品等の収去検査を併せ行う。		活動指標名					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		医薬品販売業等の事業者に対し、関連法令の遵守の徹底を図ることで医薬品等の有効性・安全性を確保するとともに、身近な家庭用品による健康被害を防止する。又毒劇物による事件・事故の発生を未然に防止する。		成果指標名						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		医薬品や毒劇物による事件・事故の発生を防止し、健康被害を無くすことで、区民が安全で安心して暮らせる街づくりが実現できる。		監視指導件数						
				資料配布講習数						
				法令基準適合施設/監視指導施設数						
				資料効果有効とする回答数/配布資料の評価アンケート回収数						

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績				
指標	活動指標	件	121	78	109	300		
	活動指標	件	0	78	78	78	100.0	
	成果指標	%	61	70	69	80	90	
	成果指標	%	0	100	100	100	100.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,694	1,665	1,157	1,844		
	職員数(正規 非常勤)	人	1.10	1.10	1.10	2.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,942	9,942	9,942	18,076	特記事項 平成12年度より毒物及び劇物取締法並びに有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づく事務が新規に区移管となりそれに伴う事業費269千円が12年度予算に計上されている。活動指標については、12年度よりの新規事業数が15年度目標値に加算されており、達成率は数値化不能。活動指数については、医薬品販売業者数のみの数値である。
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費	千円	11,636	11,607	11,099	19,920		
	単位あたりコスト	千円	96	149	102	66		
	財源	受益者負担分	千円	470	565	544	684	
		その他特定財源	千円					
差引:一般財源		千円	11,166	11,042	10,555	19,236		
受益者負担比率	%	4.0	4.9	4.9	3.4			

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	医薬品販売業者数は平成9年度末の87件から平成12年度当初80件へと、若干減少している。事務事業開始以来、医薬品等による健康被害は未だ全国的に散発しており、医薬品販売業者への医薬品販売時に於ける薬剤師による情報提供等の必要性がより求められている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	薬害オンブズパーソンや一般区民から医薬品販売業者に対して、医薬品購入時の医薬品に関する相談・説明等情報提供が不十分との指摘がなされている。
	今後の予測	現在、医薬品の販売に関する法規制が緩和の方向で検討されており、許認可等の規制緩和が実施されると流通医薬品の安全性に関する監視が一層必要となる。



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		休日等急病診療		整理番号		460		
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード		150431		
予算事務事業名		休日等診療		コード		42000		
						*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 48 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区休日等夜間急病診療事業実施要綱			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					
			休日等に診療を必要とする区民					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		多くの医療機関が休診する時間帯における急病患者に対応するため、初期救急医療対策を実施している。		活動指標名			診療人数 実施日数(H11のみ固定 平日含む366日、在宅輪番 122日)
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		多くの医療機関が休診する時間帯において急病患者に対する医療を確保する。		成果指標名			(代)一日当り固定診療所診療人数  (代)一日、一医療機関当りの在宅輪番診療所診療人数	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 多くの医療機関が休診する時間帯において急病患者に対する医療を確保することにより、区民が安心して生活できる。								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	
				計画	実績	計画	年度	
指標	活動指標		人	9,733	8,744	8,744	8,432	
	活動指標		日	120	366	366	120	
	成果指標		人	14		6	16	
	成果指標		人	10		9	8	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	134,262	149,979	149,449	125,286	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.42	0.42	0.35	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,615	3,796	3,796	3,163	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	137,877	153,775	153,245	128,449	
	単位あたりコスト		千円	14	18	18	15	
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	
		その他特定財源	千円	4,128	4,128	4,128	4,128	
		差引：一般財源	千円	133,749	149,647	149,117	124,321	
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年度平日準夜の小児科診療を実施して事業の拡充を図ったが、引き続き財政難に加え平日準夜の利用者数が少なかったため、平成12年度からは事業の休止に至った。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		要望 ・夜間や休日の診療体制を充実してほしい。 ・救急時の医療体制を充実してほしい。 ・急病診療医療機関の当番表を広報に掲載してほしい。					
	今後の予測		休日等における医療体制の整備は、今後も必要である。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		休日等急病診療テレホンセンター				整理番号	461		
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード	150431		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		休日等診療		コード	42000		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 48 年度		根拠法令等			
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区休日等夜間急病診療事業実施要綱			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					
	休日等の急病患者に対する休日等夜間急病診療所の診療受付、医療機関の紹介を必要としている区民								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名						
休日等の急病患者に対する休日等夜間急病診療所の診療受付、医療機関の紹介、医療相談等を杉並区医師会に委託し実施している。			利用者数		実施日数				
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名						
多くの医療機関が休診する時間帯において急病患者に対する医療を確保し、休日等診療事業を円滑に実施する。			(代)一日あたり利用者数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 多くの医療機関が休診する時間帯において急病患者に対する医療を確保することにより、区民が安心して生活できる。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		人	10,917	10,129	10,129	8,904		
	活動指標		日	120	366	366	120		
	成果指標		人	91		28	74		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	27,222	10,424	10,424	9,757		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.15	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,711	2,711	2,711		1,356
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	29,933	13,135	13,135	11,113		
	単位あたりコスト		千円	3	1	1	1		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0
		その他特定財源		千円	0	4,128	4,128		4,128
		差引:一般財源		千円	29,933	9,007	9,007		6,985
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成11年度平日準夜の小児科診療及びテレホンセンター事業を実施して事業の拡充を図ったが、引き続き財政難に加え平日準夜の利用者数が少なかったため、平成12年度からは事業の休止に至った。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)								
	今後の予測			休日等における医療機関の整備は、今後も必要である。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歯科休日急病診療		整理番号	462			
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード	150431			
予算事務事業名		休日等診療		コード	42000			
				*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 52 年度		根拠法令等			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区歯科休日急病診療事業実施要綱			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					
			休日等に歯科診療を必要とする区民					
		活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名				
		多くの医療機関が休診する休日や年末年始等における歯科の急病患者に対応するため、初期救急医療対策を杉並区歯科医師会に委託し、実施している。		診療人数 実施日数				
		意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名				
		多くの医療機関が休診する休日や年末年始等において急病患者に対する医療を確保する。		(代)一日あたりの診療人数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								
多くの医療機関が休診する休日や年末年始等において急病患者に対する医療を確保することにより、区民が安心して生活できる。								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		
				計画	実績	計画		
						目標値		
						年度		
						目標値に対する11年度の達成率%		
指標	活動指標		人	581	581	719	731	
	活動指標		日	70	71	71	71	
	成果指標		人	8	8	10	10	
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,199	24,325	24,140	22,665	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.40	0.41	0.35	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,615	3,615	3,706	3,163
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0
	総事業費		千円	27,814	27,940	27,846	25,828	
	単位あたりコスト		千円	48	48	39	35	
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0
		その他特定財源		千円	0	0	0	0
		差引：一般財源		千円	27,814	27,940	27,846	25,828
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		救急診療体制に対する区民の要望は依然高い。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		要望 ・夜間や休日の診療体制を充実してほしい。 ・救急時の医療体制を充実してほしい。					
	今後の予測		休日等における歯科医療機関の整備は、今後も必要である。また、H13開設予定の「歯科保健医療センター」が将来移転又は改築する場合、休日歯科診療事業を同センター内で実施し、平日を障害者歯科診療、現在空いている休日等を休日歯科診療で施設を共有使用し、一層の効率化を図る。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		急病診療調剤事業				整理番号	463		
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード	150431		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		休日等診療		コード	42000		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 63 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区調剤待機事業実施要綱			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		休日等に薬の調剤を必要とする区民			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			一般の薬局が調剤しない時間帯に処方箋に基づく調剤事業を行う。		活動指標名 利用者数 実施日数			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			処方箋の応需体制を確保することにより、急病診療事業及び歯科診療事業の円滑な運営を図る。		成果指標名 (代)一日あたりの利用者数			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 急病診療事業及び歯科診療事業に対応する処方箋の応需体制を確保することにより、区民が安心して生活できる。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		人	395	2,391	2,391	1,920		
	活動指標		日	120	366	366	120		
	成果指標		人	3	7	7	18		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,128	9,058	8,988	7,991		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.21	0.21	0.15	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	904	1,898	1,898		1,356
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	7,032	10,956	10,886	9,347		
	単位あたりコスト		千円	18	5	5	5		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0
		その他特定財源		千円	0	0	0		0
		差引:一般財源		千円	7,032	10,956	10,886		9,347
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成11年度平日準夜の小児科診療及び調剤業務を実施して事業の拡充を図ったが、引き続き財政難に加え平日準夜の利用者数が少なかったため、平成12年度からは事業の休止に至った。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			要望 ・夜間や休日の診療体制を充実してほしい。 ・救急時の医療体制を充実してほしい。					
	今後の予測			休日等における保険調剤事業は今後も必要である。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者（児）歯科診療				整理番号		465		
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード	150431		上位施策名（コード）			
予算事務事業名		障害者（児）歯科診療		コード	42400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 6 年度		根拠法令等					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区立障害者歯科診療所条例 杉並区立障害者歯科診療所条例施行規則 杉並区立障害者歯科診療事業実施要領					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 障害等により、一般の医療機関での歯科治療が困難な者							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		区立障害者歯科診療所において、診断・治療・指導及び訓練を杉並区歯科医師会に委託して、実施する。		活動指標名 診療延人数 予診人数（新患者数）					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		全身管理をしながら、歯科治療や指導等を実施し、歯科診療の機会の確保を図る。		成果指標名 (代)診療延人数の前年比					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 一般の歯科医療機関での治療が難しいため、歯科診療を受けることが出来なかった住民に対して安全で十分な歯科治療を受ける機会を確保し、住民の健康を守ることに繋がっている。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	17年度			
指標	活動指標		人	2,286	2,100	2,301	2,200	2,700	85.2	
	活動指標		人	72	72	70	80	100	70.0	
	成果指標		%	115	92	101	96	104	97.1	
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	70,109	72,337	68,431	68,539	82,336		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.60	0.62	0.62	0.80	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	5,423	5,604	5,604	7,230	成果指標に関しては、現在は診療終了後は定期検診等を継続して実施しているため、正確な把握は困難。 13年度以降は、歯科保健医療センターとして、終了者を地域のかかりつけ歯科医に逆紹介していくため、この件数に注目して把握する予定。		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費		千円	75,532	77,941	74,035	75,769			
	単位あたりコスト		千円	33	37	32	34			
	財源	受益者負担分	千円	1,995	1,693	1,772	1,693			
		その他特定財源	千円	14,052	12,420	13,829	12,420			
差引：一般財源		千円	59,485	63,828	58,434	61,656				
受益者負担比率		%	2.6	2.2	2.4	2.2				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開設(平成6年12月)より、年々受診者が増加し、平成11年7月からは、現行体制で全身麻酔治療が実施できるようになった。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		所在地の下井草は、一般的にも交通の便が悪く、障害を持つ患者の通院が大変困難であるため、住民及び(社)杉並区歯科医師会から『搬送体制の整備』や『中心地への移転』について強い要望がある。特に和泉・高井戸地区からの通院が難しいため、一般の歯科診療所から患者紹介ができない状態である。							
	今後の予測		障害者だけではなく、感染症患者や要介護高齢者等一般の医療機関での歯科診療が難しいケースは今後増加することが予測され、区立障害者歯科診療所にも診療体制の改善・充実が求められると思われる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		家庭訪問歯科診療				整理番号		466			
所属名		保健衛生部健康推進科健康推進係		コード		150431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		家庭訪問歯科診療		コード		42600		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 61 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 12 年度		杉並区家庭訪問歯科診療事業実施要綱				訪問歯科連絡調査会設置要領	
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他							
	原則として、65歳以上で、在宅寝たきりの区民										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			訪問調査を行い、判定結果により(社)杉並区歯科医師会に委託し、訪問歯科診療を実施する。		活動指標名				申込人数 訪問診療人数	
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			上記対象者の歯科治療の機会を確保する。		成果指標名				寝たきり高齢者数(65歳以上の推計)に対する申し込み人数の割合  申込人数に対する訪問診療人数		
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
外出できないため歯科治療を受けられなかった患者が、在宅で歯科診療を受けることができる。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
				計画	実績						
指標		活動指標	人	218	199	150	150				
		活動指標	人	154	154	109	100				
		成果指標	%	5	5	4	4				
		成果指標	%	71	77	73	67				
総事業費・コスト把握		事業費	千円	25,855	26,058	19,666	18,250				
		職員数(正規 非常勤)	人	1.30	0.82	0.82	1.38	特記事項			
		人件費	職員分(超勤分含む)	千円	11,749	7,411	7,411	12,472			
			非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
		総事業費	千円	37,604	33,469	27,077	30,722				
		単位あたりコスト	千円	172	168	181	205				
		財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			
			その他特定財源	千円	0	0	0	0			
			差引:一般財源	千円	37,604	33,469	27,077	30,722			
受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化			社会保険診療での訪問歯科診療の評価が明確になったことや区内の一般歯科診療所の在宅歯科診療に対する意識・技術の向上により、在宅での歯科治療が普及定着した。現行事業での行政の役割の変化により新しい事業への移行を検討中。						
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象年齢以下の訪問歯科診療希望者が多い。</li> <li>・訪問調査時に応急処置して欲しい。</li> <li>・病院・老健施設等入院・入居者からの訪問歯科診療実施の要望がある。</li> </ul>						
		今後の予測			平成12年度 本事業廃止 平成13年度 「歯科保健医療センター」を開設し、在宅訪問歯科診療については、同センター運営の一部として実施する。(詳細は、障害者歯科診療事業に記載)						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 健康づくり推進員 整理番号 468

所属名 保健衛生部健康推進課 コード 150431 上位施策名(コード)  
 予算事務事業名 \*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する  
 健康づくりの推進 コード 42620

事務事業の概要	事業開始年度 <span style="margin-left: 20px;"><input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成</span> <span style="margin-left: 20px;">9 年度</span>	根拠法令等 <span style="margin-left: 20px;"><input type="checkbox"/> 実施計画事業</span>
	事業終期 <span style="margin-left: 20px;"><input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有</span> <span style="margin-left: 20px;">平成 12 年度</span>	国民の健康・体力増強対策について(閣議決定) 国民の健康づくり地方推進事業実施要綱 杉並区健康づくり推進員設置要綱
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 地域の健康づくりを推進する健康づくり推進員、企画委員	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 企画委員が企画委員会議を核として、健康づくり情報紙の発行や健康教室を始め地域の健康づくりを推進するための催しに参画する。推進員は、企画委員の仕事に協力する。	活動指標名 企画委員会議開催回数 情報紙発行部数
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 健康づくり推進員・企画委員の主体的な参画による、地域の特性を反映した多彩な健康づくり活動が、展開する。	成果指標名 企画委員会議への出席率  健康づくり企画委員、推進員が自主的に実施した事業数	

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか  
 健康づくり推進員の地域への働きかけにより、住民一人ひとりが主体的に健康づくり活動に参加する地域づくりが可能となり、安心して健やかに生活できる健康都市づくりに貢献する。

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標	回	60	60	60	60		
	活動指標	部	17,500	59,300	59,300	59,300		
	成果指標	%	72	100	77	100		
	成果指標	回	13	15	17	35		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,043	2,169	1,769	1,664	特記事項	
	職員数(正規 非常勤)	人	4.29	4.39	4.22	4.06		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	38,773	39,677	38,140		36,694
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0
	総事業費	千円	40,816	41,846	39,909	38,358		
	単位あたりコスト	千円	680	697	665	639		
	財源	受益者負担分	千円					
		その他特定財源	千円					
		差引：一般財源	千円	40,816	41,846	39,909		38,358
受益者負担比率	%							

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	時代の流れに合わせた健康づくり活動の展開を図るため、平成9年に健康づくり推進員制度を発足させた。この3年の間に、より充実した活動に向けて企画委員会や職員間で予算や活動形態について協議した。(二層制、謝礼の執行方法)平成11年~12年にかけて、ようやく課題とそれに対する改革案がまとまり実施準備をすすめている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他部署の委員の活動費と比較して、健康づくり推進員の活動費は少ない。</li> <li>・謝礼から活動費に変えてほしい。</li> <li>・区全体の企画委員連絡会において、健康なまちづくりに向けて互いに連携をとりながら楽しい健康づくりを地域で展開しようと呼びかけがあった。</li> </ul>
	今後の予測	平成13年6月までのサンセット事業とされてスタートした事業であるが、健康都市杉並実現の支援者としての活発な活動が企画委員・推進員および住民の間に起こりつつある。中高年の生きがいづくりや子育て支援などを地域の健康づくりのテーマとして、各地域の特色を持った活動が展開されることが予測される。

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域健康づくり支援事業		整理番号	469			
所属名		保健衛生部健康推進課		コード	150431			
予算事務事業名		健康づくりの推進		コード	42620			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成 9年度		根拠法令等			
	事業終期		○無 ●有 平成 12年度		□実施計画事業			
	対象		□個人 □世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 □その他		地域保健法第6条			
	健康づくり活動に参加する区民・自主グループ				国民の健康づくり地方推進事業実施要綱			
	健康づくり活動に参加する区民・自主グループ				地域健康づくり支援事業実施要領			
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		セミナー等の受講者に自主グループ結成を促す。誕生したグループと行政による共同事業（講座等の企画実施）やネットワーク交流会を通して、自立グループに育成する。		活動指標名				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		健康づくり自主グループを多数誕生させ、その成熟に向けて支援することにより、地域で主体的に活動する自主グループが増加し、ネットワーク化が図られ、草の根的に健康づくり活動が展開される。		成果指標名				
				自立した（発足後3年間経過）健康づくり自主グループ数 / 平成9年度に誕生したグループ数				
				ネットワーク参加グループ数 / 支援中の自主グループ数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか								
多彩な健康づくり自主グループが多く誕生し、主体的な健康づくり活動が行われることは、健康なまちの要素である。多年にわたるグループ同志の交流からも多様な活動が展開され、地域の健康づくりに貢献する。								
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		
				計画	実績	計画		
						目標値		
						年度		
						目標値に対する11年度の達成率%		
指標	活動指標		回	63	32	44	32	
	活動指標		グループ	17	25	19	25	
	成果指標		%		100	67	100	
	成果指標		%	66	80	82	80	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,511	2,218	1,400	1,842	
	職員数(正規 非常勤)		人	7.36	7.16	5.41	5.85	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	66,520	64,712	48,896	52,872
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0
	総事業費		千円	69,031	66,930	50,296	54,714	
	単位あたりコスト		千円	1,096	2,092	1,143	1,710	
	財源	受益者負担分		千円				
		その他特定財源		千円				
差引：一般財源		千円	69,031	66,930	50,296	54,714		
受益者負担比率		%						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年度にスタートし、誕生から成熟に向けてのグループ支援が3年が経過し（自立条件）、自立グループが出現して地域での主体的な活動が始まりつつある。また、区内すべての健康づくり自主グループを網羅する「杉並健康ネットワーク」が、住民と行政の協働のもとに設立された。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥満や高脂血症の改善が楽しく行える。</li> <li>・仲間づくりと健康づくりが同時にできてうれしい。</li> <li>・グループ誕生後3年経過して自立団体になっても、活動の場や職員の支援を継続してほしい。</li> </ul>					
	今後の予測		新規誕生自主グループの増加に伴い、自立グループも増えてくる。その結果、健康づくりに留まらない多彩な活動が行われることが予測される。また、杉並健康ネットワークの充実がはかられ、中高年の健康生きがいづくりが活発となる。					



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康増進事業			整理番号		470				
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード	150431		上位施策名(コード)				
予算事務事業名		健康づくりの推進		コード	42620		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区保健医療センター条例 杉並区保健医療センター条例施行規則		
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度							
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			施設運営を民間業者及び杉並区医師会に委託し、運動負荷検査を年12回、運動指導を年139回実施する。		活動指標名			運動負荷検査受検者数 運動指導利用者数		
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			処方された運動プログラムに基づく運動を継続的に実践することにより生活習慣の改善行動を促し、疾病の発症・進行を予防する。		成果指標名			生活習慣改善率 (生活習慣が改善された者) ÷ (利用者数)		
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 生活習慣を改善する必要のある区民に、バランスのとれた食事・生活・運動を実践する手助けを行うことで、一人ひとりの健康づくりに役立っている。											
		区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
					計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		人		200	33	48				
	活動指標		人		1,600	341	4,800				
	成果指標		%								
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円		13,173	7,159	4,664				
	職員数(正規 非常勤)		人		0.20	0.23	0.30	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	1,808	2,079	2,711	事業開始して一定の期間経過後に効果測定を実施し改善効果を確認する予定であったが、事業開始が平成11年11月であったため、効果測定は実施していないので、成果指標は空欄である。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費		千円	0	14,981	9,238	7,375				
	単位あたりコスト		千円		75	280	154				
	財源	受益者負担分	千円		1,231	220	1,200				
		その他特定財源	千円								
差引：一般財源		千円	0	13,750	9,018	6,175					
受益者負担比率		%		8.2	2.4	16.3					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			近年生活習慣病予防対策は病気の早期発見・早期治療という「二次予防」から、健康的な生活習慣により疾病の発症・進行を予防する「一次予防」に重点を移している。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			運動指導の前提となる運動負荷検査が平成11年度は月4回、平成12年度は事業縮小して月1回になり、しかも平日にしか実施されないため施設を利用しづらい。							
	今後の予測			疾病の一次予防の観点から生活習慣を改める必要性の高いものは、今後も増加が見込まれる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子ども健康教室				整理番号		471		
所属名		保健衛生部健康推進課		コード	150431	上位施策名(コード)				
予算事務事業名		栄養・健康教室		コード	42660	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		栄養改善法第8条 地域保健法第6条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他							
	児童・生徒									
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		心身の成長発育に合った望ましい食習慣を中心とした健康的な生活習慣の形成を目的とし、児童館や学校栄養職員と連携をとり、講義や食事づくりの体験教室を通して指導を行う。							
活動指標名		教室参加者数								
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		健康的な生活習慣が定着し、食事作りなど食をはじめとした技術を身に付ける。								
成果指標名		(代)肥満児童の割合								
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 学童への食教育を通じて、健康的な生活習慣を身につけた成人(区民)を育成することを目的とする。糖尿病や心臓病などの生活習慣病の有病率の増加やそれに伴う医療費の増大などの軽減につながり、生活習慣病予防施策への貢献となる。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		人	81	140	143	140			
	活動指標									
	成果指標		%	5	2	4	2			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	37	55	55	55			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	0.50	0.50	0.41	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,519	4,519	4,519	3,706		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	4,556	4,574	4,574	3,760			
	単位あたりコスト		千円	56	33	32	27			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
		差引:一般財源		千円	4,556	4,574	4,574	3,760		
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初に引き続き、肥満や高脂血症の増加など小児生活習慣病が課題となっている。加えて、朝食欠食や痩せ願望が子供たちの間に広がり、こうした食生活全体の乱れに関する課題の対応も重要となっている。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・子供が食事に関心を持つようになり、家庭でも食事づくりに興味を持つようになったとの声が多い。 ・減量できたので、夏休みだけではなくその他の休みにも開催してほしい。 ・参加させたいが塾などで忙しい。学校でも頻繁にできないか。							
	今後の予測		食生活の問題だけに留まらず、テレビゲームの流行や通塾などによる運動不足の児童が増加し、ますます小児生活習慣病や体力低下など生活全体が問題となる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ヘルシーセミナー				整理番号		472		
所属名		保健衛生部健康推進課		コード	150431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		栄養・健康教室		コード	42660		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		地域保健法第6条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		老人保健法第14条					
	地域や個人の健康づくりに関心のある若年層から中年層の主婦				栄養改善法第8条					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		個人の健康づくりの三要素である栄養・運動・休養をテーマに、体験学習を含め述べ10回の講座を実施する。受講後は健康生活の継続を目的に自主グループの結成に繋げる。		活動指標名 教室開催数 受講者延数					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		健康的な生活習慣を身に付けた主婦を地域に増加させる。自主グループの結成により、健康的な生活スタイルが容易に継続されるとともにその活動が地域に波及し、地域全体に健康づくり活動を発展させる。		成果指標名 自主グループ新規入会者数/参加者数  セミナー開催数に対する自主グループの結成数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 参加者の健康度が向上し、また自主グループ活動が地域に健康づくりを普及させ、区民の健康づくり推進施策に貢献する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
指標	活動指標		回	5	5	5	5	5		
	活動指標		人	1,821	2,500	1,870	2,500	2,500		
	成果指標		%	24	50	20	50	50		
	成果指標		%	80	100	60	100	100		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	980	1,540	1,307	1,311			
	職員数(正規 非常勤)		人	1.43	1.49	0.88	1.02	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,924	13,467	7,953	9,219		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	13,904	15,007	9,260	10,530			
	単位あたりコスト		千円	2,781	3,001	1,852	2,106			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
差引:一般財源		千円	13,904	15,007	9,260	10,530				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		個人の健康づくりを食生活の面からだけでなく運動や休養を含んだ総合的な視点から組み立て、理論だけではなく実践に繋げるため体験学習を取り入れてスタートした。今までは家族の健康を管理する立場にある主婦を対象に展開して好評を得てきた。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		受講者からは好評の声が多く聞かれる事業である。「保健センターの仕事として最優先すべき。」「楽しく気軽に実行できる健康づくりのノウハウを家族や友人に広めたい。」「体脂肪や検診データが改善した」「各保健センターが年間1回だけではなくもっと増やして欲しい」等の意見が出ている。							
	今後の予測		住民にとって大変人気の高いセミナーであるが、多様なものが求められる今日、これを維持するためにも受講者のニーズを常に反映した内容にしていかなければならない。それとともに、ダイエットが過度のブームとなる社会現象から、ますますこうした総合的健康講座が重要となってくる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域健康講座		整理番号		473			
所属名		保健衛生部健康推進課		コード		150431			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		栄養・健康教室		コード		42660			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 年度		老人保健法			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区保健・福祉計画			
	中高年を中心に「暮らしやすいまちにすること」や「健康づくりについて」関心のある区民					栄養・健康教室実施要領			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			健康上の多様なニーズに対応するため各保健センターで「痴呆者への介護」・「中高年女性の健康」などをテーマに1コース5回位の講座を開催している		活動指標名			
意図(対象をどのような状態にしたいのか)			受講者が自身の健康の障害を受容・克服あるいは予防するために、行動変容できる。講座参加者の学習や活動の意欲を高める。このことにより、健康行政への提言や自主グループ活動やボランティア活動などを主体的に行うようになる。		成果指標名				
			教室開催数における自主グループ成立数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか			区民が生き生きと自己実現を果たせ、より良好な健康状態を保ち「健康都市杉並」の推進に向けて貢献する						
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		人	509	400	453	400	400	
	活動指標		回	5	5	5	5	5	
	成果指標		グループ数	2	2	2	2	2	
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	372	713	419			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.93	0.99	0.84	1.02	特記事項 老人保健法の健康教育補助金	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,405	8,948	7,592	9,219		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	8,777	9,661	8,011	9,219		
	単位あたりコスト		千円	17	24	18	23		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		
		その他特定財源	千円						
		差引:一般財源	千円	8,777	9,661	8,011	9,219		
	受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年度は、高齢者の生き方など高齢者関係のテーマが多く、平成10・11年度は、高齢者のテーマ以外に中高年女性の健康や働きざかりの健康などを実施した						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		それぞれ求められているテーマなので、共感共有しやすく、自主グループ活動につながっている。参加者が翌年の教室の講師になったり、体験を広げており好評である。						
	今後の予測		地域や健康を考えていくグループやボランティアが育成され、地域の支え合いが、育ってくると予測される。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		栄養・健康講座		整理番号		474			
所属名		保健衛生部健康推進課		コード		150431			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		栄養・健康教室		コード		42660			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		地域保健法第6条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		老人保健法第14条				
	新しい健康情報の収集をはじめ健康づくり活動に興味のある区民				栄養改善法第8条				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		話題となっている健康情報をテーマとし、情報の整理や正しい選択などを講義及び調理実演、実習方式で指導する。		活動指標名			講座の延べ開催数 講座の延べ参加者数	
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		マスコミ等から提供される広範囲な健康情報の中から自分にあった正しい情報の選択を行い、さらにそれを活用して健康づくりを実践できるようになる。		成果指標名			全体の受講生に対する健康情報の正しい選択が可能となった受講者数の割合  全体の受講生に対する健康情報を活用して実践しようと思った受講者数の割合		
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 多くの健康情報の中から個人にあった情報が選択でき、それを日々の生活の中で実践する区民が増えることにより、疾病予防や積極的な健康づくりが行われ区民の健康度の向上に寄与できる。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標		活動指標	回	60	50	64	50		
		活動指標	人	1,373	1,430	1,383	1,430		
		成果指標	%	90	80	85	80		
		成果指標	%	89	80	79	80		
総事業費・コスト把握		事業費	千円	1,323	1,307	1,440	1,112		
		職員数(正規 非常勤)	人	2.65	3.00	2.38	2.50	特記事項 成果指標については、講座修了時に実施したアンケート調査結果による。	
		人件費	職員分(超勤分含む)	千円	23,951	27,114	21,510		22,595
			非常勤職員分	千円	0	0	0		0
		総事業費		千円	25,274	28,421	22,950		23,707
		単位あたりコスト		千円	421	568	359		474
		財源	受益者負担分	千円	0	0			
			その他特定財源	千円					
差引：一般財源	千円		25,274	28,421	22,950	23,707			
受益者負担比率		%	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境		開始当初から現在までの変化		住民の健康志向の高まりと年々増加する健康情報により、こうした講座へのニーズがますます高まってきた。また、開始当初は食生活関連情報を中心に展開してきたが健康全般の情報が広く出回るようになり、講座のテーマ設定についても幅広く対応するようになった。					
		事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・マスメディアによる一方向の情報提供と異なり、行政と区民との双方向コミュニケーションにより情報の整理が容易にできた。 ・食事づくりの知恵が手軽に得られるので便利だ。頻繁に開催してほしい。 ・短時間に多様なことを実演するのでわかりにくい。もっと時間をかけてほしい。					
		今後の予測		今後も、ダイエット関連情報をはじめ様々な健康情報が多く流され、健康不安などを抱く住民が増加することが予測される。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		集団給食施設指導				整理番号		475		
所属名		保健衛生部健康推進課		コード	150431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		栄養・健康教室		コード	42660		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成    年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有    平成    年度		栄養改善法第8条の2、第9条の2、第10条、第11条					栄養改善法施行規則第6条 集団給食施設等指導実施要領
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		主に施設への巡回及び保健所への来所により、栄養管理について栄養士の未配置施設を重点的に個別指導を行う。又、栄養報告書の提出や講習会等への参加を通して指導していく。		活動指標名					施設への巡回及び来所による指導数 講習会参加者数
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		喫食者にあった栄養量が確保され、常に喫食者の健康づくりを配慮した食事を提供する施設にする。		成果指標名					基準栄養量に見合った給与栄養量を確保している施設数/栄養報告書提出施設数  喫食者に栄養及び健康教育を実施した施設数/栄養報告提出施設数
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 集団給食施設の栄養管理が効果的に実施されることにより、区民である喫食者の健康づくりが可能となり区民の栄養改善施策の向上に貢献する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標	施設	166	118	110	170				
	活動指標	人	178	220	135	220				
	成果指標	%	73	80	75	80				
	成果指標	%	57	60	53	60				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	443	429	354	365				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.45	0.86	0.86	0.65		特記事項		
	人件費	千円	4,067	7,773	7,773	5,875				
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費	千円	4,510	8,202	8,127	6,240				
	単位あたりコスト	千円	27	70	74	37				
	財源	千円	4,510	8,202	8,127	6,240				
	受益者負担比率	%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		近年、コンビニエンスストアや外食利用の増加などにより集団給食の役割も変化してきた。また、給食施設の利用も朝食の喫食率の低下や夕食の主菜の偏重など飽食時代が反映されている。こうした中で、食教育の課題が増している。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		・栄養基準量にあった食事では、主菜量が少なく喫食者から不満の声があがる。基準量を増やせないのか。 ・従業員の事務効率が向上するよう、給食施設にあった指導を要請されている。							
	今後の予測		喫食者が施設の給食を利用するという前提のみで指導をするのではなく、外食を利用する際にも健康的な視点から食事を選択する能力が身につけらよう食教育に重点をおいた指導が必要となる。介護保険施行後、小規模の高齢者施設が増加している。今後はこうした施設への対応が求められるようになる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神保健相談				整理番号	476		
所属名		保健衛生部 健康推進課 健康推進係		コード	150431		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		精神保健対策		コード	42700		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第2条、第47条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		各保健センターにおいて精神科専門医による相談日を設けての相談並びに随時の保健婦による相談及び訪問指導を行う。		活動指標名				相談・訪問指導延人数(医師及び保健婦) 保健相談回数(医師)
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		精神障害の予防、早期発見、早期治療、再発予防を実現し、精神保健に関する知識、理解を深め、社会的偏見を是正する。		成果指標名				精神保健に関する成果は、表しにくいですが、専門医の相談日における相談の転帰について次回から指標として表したい
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 精神障害者が、住みなれた地域社会のなかで生活できるまちを実現する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		人	7,761	7,800	7,778	7,400		
	活動指標		回	160	167	173	167		
	成果指標								
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,185	5,066	5,017	5,087	特記事項	
	職員数(正規 非常勤)		人	8.57   0.00	8.71   0.00	8.33   0.00	8.40   0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	77,456	78,721	75,287		75,919
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	81,641	83,787	80,304	81,006		
	単位あたりコスト		千円	11	11	10	11		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0
		その他特定財源		千円	676	783	1,322		1,326
		差引:一般財源		千円	80,965	83,004	78,982		79,680
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		入院中心の医療から、地域ケアを中心とする対策への大きな変化の中で、相談・訪問指導延人数も平成11年度は昭和50年度(947人)に比較して8倍以上に増加し、相談内容も多様化している。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		医療機関と違い、直接本人が来所できなくても、困った人が相談に来ることができる機関として評価されている。						
	今後の予測		社会的ストレス等の増加もあり、相談の需要はより多くなること、および相談内容の多様化にともない、精神科専門医の同伴の訪問相談の必要性が高くなることが予測される						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神障害者社会復帰訓練				整理番号	477		
所属名		保健衛生部 健康推進課 健康推進係		コード	150431		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		精神保健対策		コード	42700		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 53 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 第2条			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			各保健センターで行う精神保健相談事業の対象者で、回復途上にある精神障害者のうち、基準に適合する者		活動指標名			参加者延人数 実施回数
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)			集団活動を通じ、対人関係の障害の改善や日常生活習慣を習得することにより、社会的自立と社会参加を実現する。		成果指標名			参加者実人数中社会復帰訓練を終了した者の割合
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 精神障害者が、地域社会のなかで自立した生活を送ることができるまちを実現する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		人	3,568	5,280	3,955	5,280		
	活動指標		回	389	384	388	384		
	成果指標		%	11	10	9	10		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,093	15,028	13,515	13,543		
	職員数(正規 非常勤)		人	6.72	0.00	6.46	0.00	5.20	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	60,735	58,385	49,528	46,998	特記事項 社会復帰訓練終了とは、共同作業所への福祉的就労や家庭内適応などを言う
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	73,828	73,413	63,043	60,541		
	単位あたりコスト		千円	21	14	16	11		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	
		その他特定財源		千円	215	204	116	116	
差引:一般財源		千円	73,613	73,209	62,927	60,425			
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			入院中心の治療体制から地域社会でのケアへという流れの中で、新規入院患者の入院期間も短期化しつつある。参加者も比較的若い人が多くなってきて、地域において定期的に通所できる場として利用する者も出てくるようになった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			医療の場と離れた地域の身近な場で通所しやすく、プログラムをとおして地域社会と交流する場となり、また家族を含めた相談・支援が可能のため、好評である					
	今後の予測			短期入院が多くなり、医療機関からの紹介がふえることから、待機者が増加するものと見込まれる。					



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神保健福祉連絡協議会運営				整理番号		478		
所属名		保健衛生部 健康推進課 健康推進係		コード	150431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		精神保健対策		コード	42700		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 1 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区精神保健福祉連絡協議会設置要綱					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		精神保健福祉事業に関する機関及び団体					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		精神保健福祉事業に対する意見交換を行うとともに、情報交換等により関係機関・団体との連携を図る。		活動指標名					協議会開催数
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		関係機関・団体との連携の強化を実現する。		成果指標名					意見・情報の交換を行った団体数
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 精神障害者を支える地域ネットワークを実現する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		回	2	2	0	2			
	成果指標		団体	11	11	0				
	活動指標									
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	237	342	16	204			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.05	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	452	181	181	362		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	689	523	197	566			
	単位あたりコスト		千円	344	261	#DIV/0!	283			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	0	0	0	0		
		差引:一般財源		千円	689	523	197	566		
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		「障害者基本法」及び「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」の改正等により、精神障害者が「障害者」として明確に位置付けられるとともに、これまでの保健医療施策に加え、福祉施策の充実を図るなど、地域保健福祉施策の強化が求められている。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		精神障害者に対する施策の充実を求めている。							
	今後の予測		精神保健福祉事業を推進するにあたって、関係機関・団体との連携は、ますます重要になると見込まれる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名 精神障害者通所授産事業 整理番号 480

所属名 保健衛生部健康推進課地域生活支援係 コード 150432 上位施策名(コード)  
 予算事務事業名 コード 42710 \*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する  
 地域生活支援センター運営

**事業開始年度**  昭和  平成 11 年度 **根拠法令等**  実施計画事業  
**事業終期**  無  有 平成 年度 **精神保健福祉法**  
**対象**  個人  世帯  団体  その他 **杉並区立保健医療センター条例**  
 精神障害者通所授産事業の通所者 **東京都精神障害者通所授産施設設置運営基準**

**活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)** **活動指標名**  
 将来就労を希望する精神障害者に、仕事の場を提供する。 **通所者数**

**意図 (対象をどのような状態にしたいのか)** **成果指標名**  
 週5日間定時に通所することにより生活のリズムを整えるとともに、作業を通じて一般就労にむけ体力を回復させる。さらに、ソーシャルスキルトレーニング等とおして、就職活動にむけた経験を積みながら就労をめざす。(通所期間原則3年間)実施日月曜～金曜まで週5日(祝日除く) **(代)体験就労参加者数**

意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか  
 精神障害者が、一般社会において自立することができる。

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
			計画	実績	計画	15年度				
指標	活動指標	人		15	12	15	20	60.0		
	活動指標									
	成果指標	人			0	3	10	0.0		
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費	千円		13,181	11,987	11,677	20,000	59.9		
	職員数(正規 非常勤)	人		4.50	1.00	5.10	1.00	4.50	1.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	40,671	46,094	40,671			
		非常勤職員分	千円	0	3,116	3,116	3,116			
	総事業費		千円	0	56,968	61,197	55,464			
	単位あたりコスト		千円		3,798	5,100	3,698			
	財源	受益者負担分	千円		612	363	802			
		その他特定財源	千円		4,956	4,183	6,163			
		差引：一般財源	千円	0	51,400	56,651	48,499			
	受益者負担比率		%		1.1	0.6	1.4			

**事業を取り巻く環境**

**開始当初から現在までの変化**  
 平成11年5月から事業開始した。通所授産事業として、昼食作りを実施しているが、一般区民の利用が増えつつある。

**事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)**  
 家族会などから、週2～3日程度しか通えない障害者も受け入れて欲しいという要望が出ている。

**今後の予測**  
 向精神薬の開発など医学の進歩に伴い、社会復帰のできる精神障害者は今後増加すると見られ、社会復帰施設の需要が高まる。共同作業所との役割分担を明確にして、就労援助をしていく必要がある。

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神障害者生活支援事業				整理番号	483					
所属名		保健衛生部健康推進課地域生活支援係		コード	150432	上位施策名(コード)						
予算事務事業名		地域生活支援センター運営		コード	42710	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		精神保健福祉法							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区及び周辺地域の精神障害者		杉並区立保健医療センター条例							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		地域に生活する精神障害者の相談対応や居場所の提供を行う。 生活相談及び憩いの場実施日 火・水・木・土・日曜 イブニングケア月2回		活動指標名				相談件数 事業利用者件数			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		気軽に居場所として活用してもらい、いつでも相談できる場とすることにより、不安感解消や地域での生活のしづらさを軽減していく。原則登録制とし、継続的に支援を行う。		成果指標名				生活支援事業登録者1人あたり相談件数  実施1日あたり利用者件数			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 精神障害者が、一般社会において自立することができる。												
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%				
				計画	実績	計画	17年度					
指標	活動指標		件		800	763	960	2,800	27.3			
	活動指標		件		3,000	2,124	3,000	5,000	42.5			
	成果指標		件/人		10	7	12	20	35.0			
	成果指標		人/日		10	7	12	20	35.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円		3,912	3,426	3,845	5,000	68.5			
	職員数(正規 非常勤)		人		2.30	2.61	2.30	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	20,787	23,589	20,787	今年度内に、都補助金増額予定により、「その他特定財源」増加する見込み			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				
	総事業費		千円	0	24,699	27,015	24,632					
	単位あたりコスト		千円		31	35	26					
	財源	受益者負担分		千円		130	112	194				
		その他特定財源		千円		13,738	13,935	13,586				
		差引：一般財源		千円	0	10,831	12,968	10,852				
受益者負担比率		%		0.5	0.4	0.8						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年5月に開設した。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		障害者団体から、深夜も含めた24時間体制で精神障害者の不安解消等のケアを行って欲しい、との要望がある。									
	今後の予測		今年度から、精神保健福祉法に基づく社会復帰事業と位置付けられた。今後、精神障害者の自立を支援するさまざまな役割が付加されると予想される。地域生活支援センターで把握した障害者個々の悩みなどを、保健センターと連携しながら解消させていく。									

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神障害者グループホーム助成				整理番号	484			
所属名		保健衛生部 健康推進課 健康推進係		コード	150431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		精神障害者施設助成		コード	42720		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 8 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終了年度			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区精神障害者グループホーム運営費補助金交付要綱 共同作業所・グループホーム設立運営資金貸付要綱				
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 グループホームを設置・運営する団体						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名						
	グループホームの設置・運営に要する経費の一部を補助する。また、入居者の適否を協議する。			補助施設数 入居者数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名							
精神障害者の地域社会における生活の場を確保し、その自立を実現する。			グループホームを退所し、地域で自立した生活を始めた者の数							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 精神障害者が地域社会のなかで生活できるまちを実現する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		所	2	2	2	2			
	活動指標		人	9	9	9	9			
	成果指標		人	0	2	3	2			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	27,427	26,179	26,139	22,960			
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.24   0.00	0.23   0.00	0.26   0.00	0.30   0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,169	2,079	2,350	2,711		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	29,596	28,258	28,489	25,671			
	単位あたりコスト		千円	14,798	14,129	14,244	12,836			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	16,533	16,533	16,575	16,763		
		差引：一般財源		千円	13,063	11,725	11,914	8,908		
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			単身生活をしなくてはならない精神障害者にとって、経済的・社会的困難さは、事業開始当初と同じく、厳しいものがある。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			補助対象施設数及び補助金額の増を強く要望している。						
	今後の予測			入院医療中心の治療体制から地域におけるケアを中心とする体制へという流れの中で、退院後の生活の場が確保されないために社会的入院を余儀なくされている者の解消など、施設整備の充実がますます求められることが見込まれる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		精神障害者共同作業所助成				整理番号		485		
所属名		保健衛生部 健康推進課 健康推進係		コード	150431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		精神障害者施設助成		コード	42720		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 59 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		精神障害者共同作業所通所訓練事業運営費等助成要綱 通所訓練事業に係る通所者交通費助成事業運営要綱 杉並区精神障害者共同作業所・グループホーム設立運営資金貸付要綱				
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 共同作業所を設置・運営する団体						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名				
	共同作業所の設置・運営に要する経費の一部を助成する。					助成施設数 共同作業所所在籍者数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名					
回復途上にある精神障害者に対する通所の方法による生活指導・作業訓練等の社会適応訓練を行う場を確保して、精神障害者の社会復帰を実現する。					共同作業所を退所し、就職(学)等をした者の数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
精神障害者が、住みなれた地域のなかで、生活できるまちを実現する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度		目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		所	11	13	13	13			
	活動指標		人	274	287	319	326			
	成果指標		人	5	13	15	13			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	290,544	338,331	325,834	270,709			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.80   0.00	0.75   0.00	0.79   0.00	0.70   0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,230	6,779	7,140	6,327		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	297,774	345,110	332,974	277,036			
	単位あたりコスト		千円	27,070	26,547	25,613	21,310			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		
		その他特定財源		千円	115,528	151,145	141,435	153,806		
		差引：一般財源		千円	182,246	193,965	191,539	123,230		
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			入院医療中心の治療体制から、地域におけるケアを中心とする体制へという流れの中で、精神障害者を地域で支える中心的な存在として、大きな役割を果たすようになってきた。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			助成対象施設数の増並びに助成対象経費の範囲の拡大及び助成基準額の増額を強く要望している。						
	今後の予測			精神障害者の地域における自立と社会参加の促進のための「場」としての役割は、ますます高まるものと思われる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康手帳交付				整理番号		510		
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード		150431		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		成人病対策		コード		44200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度		根拠法令等					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 老人保健法 第13条 健康手帳交付事務処理要領					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 30歳以上で健康手帳の交付を希望する区民							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		老人医療対象者には、計画推進課から老人医療証を送付する際同封している。医療対象外の区民には、希望により、保健所・各保健センター・出張所等の窓口で発行している。		活動指標名 健康手帳交付件数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		医療を受ける際に必要な事項を記載したり、健康診査の記録等に活用し、健康管理に役立てる。		成果指標名 健康手帳交付件数(70歳以上医療対象者を除く)÷成人健康診査受診者数					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 健康手帳の活用により、保健・医療・福祉の連携に大きな役割を果たしている。										
		区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
					計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		部	20,275	23,000	20,795	22,000			
	活動指標									
	成果指標		%	32	39	35	38			
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,507	2,507	2,459	2,398			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.11	0.10	0.11	0.10	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	994	904	994			904
		非常勤職員分		千円	0	0	0			0
	総事業費		千円	3,501	3,411	3,453	3,302			
	単位あたりコスト		千円	0.17	0.15	0.17	0.15			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
		差引:一般財源		千円	3,501	3,411	3,453			3,302
	受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業開始当初は、区民健康診査の対象年齢に合わせ40歳以上の希望者に窓口交付を行っていたが、その後成人健康診査の対象年齢を引き下げたのに合わせ、30歳以上の希望者にも窓口交付を行っている。なお、成人健康診査40歳勧奨者には、勧奨通知とともに健康手帳を同封し郵送している。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測		老人医療対象者は今後増えると思われ、健康手帳の交付件数も増加が見込まれる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活習慣病教室		整理番号		511						
所属名		保健衛生部健康推進課		コード		150431						
上位施策名(コード)												
予算事務事業名		成人病対策		コード		44200						
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する										
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業				
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 年度		地域保健法 老人保健法 生活習慣病教室実施要領							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他									
	生活習慣病の予防や活動に関心のある区民および区民健診受診の結果要指導と判定された区民											
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名									
生活習慣病に関する予防及び改善についての医学的な知識、具体的な食生活や運動についての講義及び実技指導を行う。さらに好ましい生活習慣の継続に向けグループ作りを行う。		生活習慣病予防教室参加延べ人数 生活習慣病予防教室開催数										
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名										
健康的な生活にむけて一人ひとりの改善意欲を高めるとともに、継続した生活習慣の改善にむけて仲間とともに自助グループを結成する。		生活習慣の改善をしてみようという人数 / 生活習慣病予防教室出席者  自主グループ結成数 / 生活習慣予防教室開催数										
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか												
糖尿病、高脂血症などの生活習慣病の予防やそれらの疾病に伴う合併症の発症を抑制するなどを通して、生活習慣病予防施策へ貢献している。												
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%				
				計画	実績	計画	年度					
指標	活動指標		人	1,643	1,530	1,635	1,530					
	活動指標		回	36	35	38	35					
	成果指標		%	51	80	71	80					
	成果指標		%	11	20	20	20					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,225	2,196	1,979	2,176					
	職員数(正規   非常勤)		人	2.91	3.25	3.39	3.89	特記事項 成果指標については、講座終了時に実施したアンケート調査結果による。				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	26,301	29,374	30,639			35,158		
		非常勤職員分		千円	0	0	0			0		
	総事業費		千円	28,526	31,570	32,618	37,334					
	単位あたりコスト		千円	17	21	20	24					
	財源	受益者負担分		千円								
		その他特定財源		千円								
差引:一般財源		千円	28,526	31,570	32,618	37,334						
受益者負担比率		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		糖尿病患者の急速な増加や、虚血性心疾患に関連する高脂血症の増加に対する改善対策が急務となっている。当初は受講者数が定員2倍であったが、現在はほぼ定員どおりである。また、疾病についての知識を提供する講座から生活改善のための体験学習をテーマにした講座に変化した。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		知識が深まり、個人に合わせた食生活・運動等の実践が具体的でわかりやすいと好評である。終了後にできたグループに参加し、生活習慣改善が達成され生活が楽しくなり、検査データも改善したという意見も聞かれている。									
	今後の予測		生活習慣病を予防する対策は、重要であるため、今後も教室の需要が増大する。13年度から杉並区医師会に所属する医療機関においても、個別指導として生活習慣改善事業が発足する予定である。									

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		乳がん教室		整理番号	512					
所属名		健康推進課 健康推進係		コード	150431					
上位施策名(コード)										
予算事務事業名		生活習慣病対策		コード	44200					
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する								
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 63 年度		根拠法令等					
	事業終了年度		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 地域保健法 老人保健法 生活習慣病教室実施要領					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 自らの健康に関心をもつ区民。							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		乳がんについての講義と自己検査法の実技指導。 年9回		活動指標名 受講者数。					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		乳がん発生のリスクや好発部位などを理解し、少しでも早く発見できるように、日常定期的に自己検査を実施する。		成果指標名 受講者数 ÷ 募集定員					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 乳がんの早期発見に貢献している。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標		人	120	230	87	0			
	活動指標									
	成果指標		%	47	100	38				
	成果指標									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	351	365	359	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.21	0.20	0.24		特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,898	1,808	2,169	0		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	2,249	2,173	2,528	0			
	単位あたりコスト		千円	19	9	29	#DIV/0!			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
差引：一般財源		千円	2,249	2,173	2,528	0				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		生活習慣病(当初は成人病)予防教室と位置づけ、年間13回実施していたが、希望者の漸減により平成8年度より順次縮小し、平成9年より年9回~8回実施してきた。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		受講者数は少ないが、医師による個別の説明もあり、参加者にとっては満足できる内容である。							
	今後の予測		医療機関委託の乳がん検診受診者が大幅に増加しており、希望者も減少している。							



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		骨の健康クリニック				整理番号		513			
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード		150431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名		成人病対策		コード		44200		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 7 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 骨の健康クリニック事業実施要領				
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 11 年度								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 骨の健康に関心のある18～65歳未満の区民								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		各保健センターで、月1回20人程度を募集し、骨密度測定を行い、結果説明後生活指導等を行なう。精密検査が必要な場合は医療機関を紹介する。		活動指標名		受診者数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		食生活等の生活習慣を改善し骨粗しょう症を予防する。		成果指標名		受診者数 ÷ 申込者数				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
骨密度の測定をきっかけにして、カルシウムの多い食生活や運動など生活習慣病の改善に役立つ。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
				計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標		人	956	1,160	948	0				
	活動指標										
	成果指標		%	44	100	68					
	成果指標										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,232			3,297	0	特記事項		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.63   0.05	1.55   0.20	1.52   0.20					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	14,732	14,009	13,738	0			
		非常勤職員分		千円	156	623	623	0			
	総事業費		千円	18,120	14,632	17,658	0				
	単位あたりコスト		千円	19	13	19	#DIV/0!				
	財源	受益者負担分		千円							
		その他特定財源		千円	333		349				
差引：一般財源		千円	17,787	14,632	17,309	0					
受益者負担比率		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初は骨の健康に対して骨密度測定を行える医療機関が少なかったが、現在区内医療機関等で骨密度測定を行える場所が数多くある。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		開始当初に比較すると申込数は減少しているが、平成11年度においては定員を大幅に超える申込みがあり、区民の本事業への関心度は高い。								
	今後の予測		骨密度測定に対する区民の関心は高いが、骨密度測定を行える医療機関や民間施設が増加しており、骨密度測定を保健センターで受ける区民は減少する。								

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		胃がん検診		整理番号		514			
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード		150431			
上位施策名(コード)									
予算事務事業名		がん検診		コード		44600			
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する							
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 51 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		胃集団検診実施要領				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他						
			35歳以上で勤務先等に検診機会のない区民。						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区医師会に委託して、申込制により通年実施している。		活動指標名				
				胃がん検診受診者数 精密検査受診者数					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		早期がん等の疾病を発見するために、要精密検査になった受診者が精密検査を受ける。		成果指標名					
				精密検査受診率 (精密検査受診者数) ÷ (要精密検査者数)					
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか									
早期がん等の疾病を発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を啓蒙する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		人	6,586	9,100	4,104	9,600		
	活動指標		人	1,019	1,820	823	1,920		
	成果指標		%	4	5	2	6		
	成果指標			15	20	20	20		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	35,259	34,827	33,263	39,044		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.74	1.45	1.12	0.53	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	15,726	13,105	10,123		4,790
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	50,985	47,932	43,386	43,834		
	単位あたりコスト		千円	8	5	11	5		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
		差引:一般財源		千円	50,985	47,932	43,386		43,834
	受益者負担比率		%						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度から老人保健法等に基づき交付されていた国庫補助等が一般財源化され、区の財政を圧迫している。また厚生省は「がん検診の有効性評価に関する研究班報告」を発表した。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)								
	今後の予測		胃がんによる死亡率は減少しているものの、罹患率は依然として高い水準で推移しており、この傾向は今後も続くことが見込まれる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子宮がん検診		整理番号		515				
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進課		コード		150431				
上位施策名(コード)										
予算事務事業名		がん検診		コード		44600				
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する								
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 51 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区子宮がん検診実施要領					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 30歳以上で勤務先等に検診機会のない女性の区民		杉並区子宮がん集団検診実施要領					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		申込制により、東京都がん検診センター及び杉並区医師会等に委託し実施している。		活動指標名					
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		早期がん等の疾病を発見するために、要精密検査になった受診者が精密検査を受ける。		受診者数 要精密検査者数					
				成果指標名 受診率 (受診者数) ÷ (対象人口 × 健康保険非本人率)  要精密検査者数 ÷ 受診者数						
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか										
早期がん等の疾病を発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を啓蒙する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績	計画	17年度			
指標	活動指標		人	10,480	10,500	11,000	10,430	13,030	84.4	
	活動指標		人	31	82	107	84	104	102.9	
	成果指標		%	8	8	8	9	10	80.0	
	成果指標		%	1	1	1	1	2	73.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	112,444	118,703	116,659	105,145	特記事項		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.89	0.97	0.95	1.01			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,044	8,767	8,586			9,128
		非常勤職員分		千円	0	0	0			0
	総事業費		千円	120,488	127,470	125,245	114,273			
	単位あたりコスト		千円	11	12	11	11			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
差引:一般財源		千円	120,488	127,470	125,245	114,273				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区民のがん予防への関心の向上により、年々受診者数が増加した。平成10年度から乳がん検診とともに、受診票の自動送付希望の区民を登録したことにより、申込方法の簡素化ができ、さらに受診者数が増加した。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		実施機関を選択できる反面、東京都がん検診センターと医師会委託の実施期間等が違つため、申し込みの際非常にわかりにくい。							
	今後の予測		区民のがん予防への関心の向上により、今後益々受診者数が増加すると思われる。							

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		肺がん検診		整理番号	516				
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード	150431				
予算事務事業名		がん検診		コード	44600				
				*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 54 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区肺がん検診実施要領				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 35歳以上で勤務先等に検診機会のない区民						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		毎年6月20日から8月20日までの二ヶ月間に、申込制により区内医療機関に委託して実施している。		活動指標名 肺がん検診受診者数 精密検査受診者数				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		早期がん等の疾病を発見するために、要精密検査になった受診者が精密検査を受ける。		成果指標名 受診率 (受診者数) ÷ (対象人口 × 健康保険非本人率)  要精密検査者率 (要精密検査者数) ÷ (受診者数)				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 早期がん等の疾病を発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を啓蒙する。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		人	2,134	2,600	2,079	2,800		
	活動指標		人	62	70	54	70		
	成果指標		%	1	1	1	1		
	成果指標		%	3	3	3	3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	33,096	33,221	32,736	33,316	特記事項	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.13	0.51	0.45	0.52		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,175	4,609	4,067	4,700		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	34,271	37,830	36,803	38,016		
	単位あたりコスト		千円	16	15	18	14		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
差引：一般財源		千円	34,271	37,830	36,803	38,016			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度から、老人保健法等に基づき交付されていた国庫補助等が一般財源化され、区の財政を圧迫している。また厚生省は『がん検診の有効性評価に関する研究班報告』を発表した。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)								
	今後の予測		肺がんによる死亡数の増加傾向は今後も続くことが見込まれるので、肺がん予防対策の重要性は変わらない。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		乳がん検診				整理番号		517	
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進課		コード		150431		上位施策名(コード)	
予算事務事業名		がん検診		コード		44600		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 63 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 杉並区乳がん検診実施要領		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 30歳以上で勤務先等に検診機会のない女性の区民						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		申込制により、杉並区医師会及び区内個別医療機関に委託し実施している。		活動指標名		受診者数 要精密検査者数		
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		早期がん等の疾病を発見するために、要精密検査になった受診者が精密検査を受ける。		成果指標名		受診率 (受診者数) ÷ (対象人口 × 健康保険非本人率)  要精密検査者数 ÷ 受診者数		
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 早期がん等の疾病を発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を啓蒙する。									
		区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
					計画	実績	計画	17年度	
指標	活動指標		人	8,282	8,000	8,832	8,500	10,620	83.2
	活動指標		人	129	300	196	300	387	50.6
	成果指標		%	6	6	7	6	9	77.8
	成果指標		%	4	4	5	4	5	47.0
総事業費・コスト把握	事業費		千円	34,739	36,399	36,081	31,732		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.33	0.31	0.34	0.42	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,983	2,802	3,073	3,796		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	37,722	39,201	39,154	35,528		
	単位あたりコスト		千円	5	5	4	4		
	財源	受益者負担分	千円						
		その他特定財源	千円						
差引:一般財源		千円	37,722	39,201	39,154	35,528			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区民のがん予防への関心の向上により、年々受診者数が増加した。平成10年度から子宮がん検診とともに、受診票の自動送付希望の区民を登録したことにより、申込方法の簡素化ができ、さらに受診者数が増加した。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		現在の視触診のみの検診方法では、十分な検診結果が得られないのではとの意見が多い。						
	今後の予測		区民のがん予防への関心の向上により、今後益々受診者数が増加すると思われる。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		大腸がん検診			整理番号		518			
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード	150431		上位施策名(コード)			
予算事務事業名				*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
がん検診		コード		44600						
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 4 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区大腸がん検診実施要領				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 30歳以上で勤務先等に検診機会のない区民						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名						
	区民健康診査(高年者健康診査、成人健康診査)受診者に対し、同時に実施している。			大腸がん検診の受診者数 要精密検査者数						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名						
早期がん等の疾病を発見するために、要精密検査になった受診者が精密検査を受ける。			受診率 (受診者数) ÷ (対象人口 × 健康保険非本人率)  要精密検査者率 (要精密検査者数) ÷ (受診者数)							
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 早期がん等の疾病を発見するとともに、検診により区民の自己の健康意識を啓蒙する。										
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標		人	66,614	65,900	66,332	66,500	68,947	96.2	
	活動指標		人	5,405	5,347	5,579	6,000	6,220	89.6	
	成果指標		%	47	50	46	50	50	60.8	
	成果指標		%	8	10	8	10	26	42.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	134,282	128,214	134,006	131,658	129,662		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.71	1.29	1.33	1.16	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	15,455	11,659	12,021	10,484		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	149,737	139,873	146,027	142,142			
	単位あたりコスト		千円	2	2	2	2			
	財源	受益者負担分		千円						
		その他特定財源		千円						
差引:一般財源		千円	149,737	139,873	146,027	142,142				
受益者負担比率		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成4年4月から、便潜血反応2日法により、区民健康診査を実施した人で、検診を希望する人に同時に実施している。区民健康診査受診者数の増加に伴い、大腸がん検診の受診者数も増加し、また65歳以上の受診者が毎年増加している。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測			高年者が毎年増加しているため、今後、高年者健診と同時に実施する大腸がん検診受診者は増加する。						



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高年者健康診査				整理番号	520				
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード	150431	上位施策名(コード)					
予算事務事業名		区民健康診査		コード	44800	*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		老人保健法第12条、16条、20条						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		老人保健法による保健事業の実施について						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		65歳以上で勤務先等に健診機会のない区民(自営業、専業主婦など)		杉並区区民健康診査等実施要領						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		健診実施期間・・・9月～11月。区内及び隣接区(中野・練馬)の医療機関で受診。対象者全員に受診票を送付。大腸がん検診同時実施。		活動指標名			受診者数	要指導者数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		生活習慣病予防対策の一環として、疾患あるいはリスクを持つものの早期発見を図る。単に医療を必要とする者を発見するだけではなく、必要な者に対し健康管理に関する正しい知識を伝え、生涯にわたって実践できる健康な生活習慣の獲得を動機づける。健康寿命を延ばし、寝たきりや介護状態の予防する。		成果指標名			受診者数 ÷ 65歳以上人口	要指導者数 ÷ 受診者数			
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか											
健康を維持することにより、老後の生活の質(QOL)の向上が図られる。また、医療や介護に対する社会的負担を軽減することができる。											
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%			
				計画	実績	計画	17年度				
指標	活動指標		人	54,459	43,760	46,732	44,600	47,307	98.8		
	活動指標		人	18,356	14,750	15,238	14,553	15,436	98.7		
	成果指標		%	51	53	58	51	52			
	成果指標		%	34	34	33	32	33			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,027,949	797,165	856,638	762,517	783,230			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.63	0.10	0.57	0.10	0.68	0.10	0.84	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,694	5,152	6,146	7,592			
		非常勤職員分		千円	312	312	312	0			
	総事業費		千円	1,033,955	802,628	863,095	770,109				
	単位あたりコスト		千円	19	18	18	17				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			
		その他特定財源		千円	277,143	244,829	262,970	247,814			
		差引：一般財源		千円	756,812	557,799	600,125	522,295			
受益者負担比率		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢化の進展とともに対象人口が増えつつきている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		世田谷区と相互乗り入れを希望する声がある。対象者全員への受診票送付は、申込手続きが不要で良いという意見がある一方で、経費の無駄であるという反対意見がある。								
	今後の予測		対象人口が増える。								



# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		成人健康診査				整理番号	521	
所属名		保健衛生部健康推進課健康推進係		コード	150431		上位施策名(コード)	
予算事務事業名		区民健康診査		コード	44800		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する	
事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 58 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		
事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		老人保健法第12条、16条、20条				
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 30歳～64歳で勤務先等に健診機会のない区民(自営業、専業主婦など)		老人保健法による保健事業の実施について				
活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		受診者の誕生日から3か月間に区内及び隣接区(中野・練馬)の医療機関、保健センターで健診を受ける。申込制(継続送付制度有り)。		活動指標名				
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		生活習慣病予防対策の一環として、疾患あるいはリスクを持つものの早期発見を図る。単に医療を必要とする者を発見するだけではなく、必要な者に対し健康管理に関する正しい知識を伝え、生涯にわたって実践できる健康な生活習慣の獲得を動機づける。健康寿命を延ばし、寝たきりや介護状態を予防する。		成果指標名				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか		健康を維持することにより、老後の生活の質(QOL)の向上が図られる。また、医療や介護に対する社会的負担を軽減することができる。		受診者数				
				要指導者数				
				受診者数÷老人健康保健法対象人口(受診率)				
				要指導者数÷受診者数				

  

区分	単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値 17年度	目標値に対する11年度の達成率%	
			計画	実績				
指標	活動指標	人	16,523	23,100	23,785	22,980	23,938	99.4
	活動指標	人	5,982	8,363	8,545	8,255	8,600	99.3
	成果指標	%	17	21	22	21	21	
	成果指標	%	36	36	36	36	36	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	289,115	427,477	410,932	374,387	398,112	
	職員数(正規 非常勤)	人	8.41   1.70	7.65   1.50	8.36   1.50	8.72   1.50	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	76,010	69,141	75,558	78,811	
		非常勤職員分	千円	5,297	4,674	4,674	4,674	
	総事業費	千円	370,422	501,292	491,164	457,872		
	単位あたりコスト	千円	22	22	21	20		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	
		その他特定財源	千円	57,292	87,495	93,978	88,562	
		差引:一般財源	千円	313,130	413,797	397,186	369,310	
	受益者負担比率	%	0.0	0.0	0.0	0.0		

  

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	当初、老人保健法に基づき40歳から60歳の区民を対象としていたが、昭和61年からは35歳以上に、平成2年からは30歳以上と対象年齢を引き下げた。平成8年から継続送付希望者登録制の実施。平成11年からは30歳～64歳と対象年齢を変更した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	世田谷区と相互乗り入れを希望する声がある。
	今後の予測	対象人口の増加が見込まれ、受診率も増加する。

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		衛生統計調査等		整理番号		451		
所属名		保健衛生部保健計画課庶務係		コード		150101		
上位施策名(コード)								
予算事務事業名		衛生統計調査等		コード		41000		
		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する						
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 23 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		統計法			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 無作為抽出した世帯及び世帯員、全国の市区町村・保健所、医療機関、医療関係者(医師等)		統計報告調整法			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		厚生省の各種統計調査(人口動態・国民生活基礎調査等)を実施する。人口動態調査については、出生・死亡等の調査票を作成し、都へ送付するとともに統計を作成する。		地域保健法			
	活動指標名		実施調査数					
事務事業の概要	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		各種統計調査を的確に実施することにより、厚生統計及び区の衛生統計の正確な基礎資料を作成し、地域保健施策にひるく反映させる。		成果指標名			区単位のベースラインデータ構築数
	意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか (少子・高齢化社会を迎えるなかで、)厚生行政施策に反映させるとともに、地域住民の健康保持・増進の為の施策に活用している。							
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%
				計画	実績	計画	年度	
指標	活動指標		調査	6	9	8	7	
	活動指標							
	成果指標		データ	7	10	9	8	
	成果指標							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,666	6,573	3,917	1,522	
	職員数(正規 非常勤)		人	3.05	2.00	2.06	2.80	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	27,566	18,076	18,618	25,306	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	
	総事業費		千円	32,232	24,649	22,535	26,828	
	単位あたりコスト		千円	5,372	2,739	2,817	3,833	
	財源	受益者負担分	千円					
		その他特定財源	千円	4,657	6,492	3,917	1,435	
		差引:一般財源	千円	27,575	18,157	18,618	25,393	
受益者負担比率		%						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		地域保健を取り巻く状況は、急速な高齢化の進展、慢性疾患の増加等により大きく変化し、これに伴い統計調査の種類が変化するとともに、地域保健に係る統計の報告も様式の改正・項目の見直しが図られている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		留守世帯が多く、回収が困難な状況にある。また、調査の趣旨の理解を得られず、回収できないケースも多い。					
	今後の予測		少子・高齢化が進み、本事業への重要性は増加する。健康都市を実現するためにも、区単位のベースラインデータの蓄積が不可欠であり、国レベルの各調査結果を区単位のデータとして取り入れ活用する必要性が高まる。また、区独自でも健康ベースラインデータを蓄積することが、ますます必要になっていく。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		専門研修		整理番号		457			
所属名		保健衛生部保健計画課		コード		150101			
予算事務事業名		保健事業の推進		コード		41400			
				上位施策名(コード)		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		地域保健法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並保健所専門研修事業実施要領				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		上記対象者に保健衛生の専門研修を実施する。また、保健所の技術・専門職の知識を活用するため、講師は原則として保健所の専門職で対応。年7回程開催。		活動指標名			講座開催数 講座参加者数	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者・障害者・児童福祉分野等、日々の業務の中で保健衛生の知識を必要とする区職員及び関係団体職員等の資質の向上が図られる。		成果指標名			受講生の内、アンケート等により成果があったと答えた人の割合(何%)	
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 区職員及び関係団体等職員等の資質の向上を図ることで、区民福祉の充実に役立つ。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	年度		
指標	活動指標		回	7	6	6	6		
	活動指標		人	441	240	250	250		
	成果指標		%						
	成果指標		%						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	522	535	340	159		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.90	1.20	1.03	2.00	特記事項 従来から把握できなかったが、今年度よりアンケート等を有効に活用し、成果指標の把握に努めたい。	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,134	10,846	9,309		18,076
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	8,656	11,381	9,649	18,235		
	単位あたりコスト		千円	1,237	1,897	1,608	3,039		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円					
		差引：一般財源		千円	8,656	11,381	9,649		18,235
	受益者負担比率		%						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者・障害者・児童福祉分野の職員等を対象に行ってきたが、高齢者分野は、介護保険の導入に伴い、新たにケアマネジャーへの研修の必要性が生じてきている。また、NPO等住民参加型の中小事業者が増加するなど、区民を取り巻く状況が変化している中で、介護者の知識や技術の向上等に保健衛生部として、アプローチしていく必要性が生じている。						
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		特に関係団体等の中には、独自の企画が難しく、十分な研修を組めない所が多い。多彩な専門職種を有する保健衛生部への期待は大きい。						
	今後の予測		高齢者分野では、NPO等中小の介護保険事業者が介護サービスを担っていくとともに、社会福祉基礎構造改革により、他の分野も制度変更が想定される。今後も、住民参加型の事業者が介護・福祉サービスの担い手として活動していく中では、従来にも増して、従事者の資質が問われていく。他部とも連携をとりながら、より効果的な研修を開催し、関係団体職員等の資質の向上に取組む必要がある。						

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		かかりつけ医機能推進				整理番号	458		
所属名		保健衛生部保健計画課保健計画係		コード	150102		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		保健事業の推進		コード	41400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 8 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度		杉並区かかりつけ医機能推進事業実施要綱			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					
	区内全域の全区民								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			医師会に委託して、区民一人ひとりにかかりつけ医を持つことの必要性を啓発し、区民からのかかりつけ医紹介等の相談に応じる。		活動指標名 相談受付件数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			区民が、日常的な健康管理を安心して行うことができ、身近な地域で適切な医療を受けられる。		成果指標名 かかりつけ医を持っている率				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 身近な地域で適切な医療を受けられることにより、医療機能の分担と連携が促進され、地域医療体制の整備が図られる。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績	計画	16 年度		
指標	活動指標		件	68	70	43	70	80	
	活動指標								
	成果指標		%	63				70	
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,968	2,968	2,968	1,388		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.05	0.05	0.05	0.55	特記事項 活動指標 9~11年度累計197件 成果指標は区民の意識調査により把握する。	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	452	452	452		4,971
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0
	総事業費		千円	3,420	3,420	3,420	6,359		
	単位あたりコスト		千円	50	49	80	91		
	財源	受益者負担分		千円					
		その他特定財源		千円	1,483				
差引:一般財源		千円	1,937	3,420	3,420	6,359			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			平成12年度からは、介護保険制度も始まり、要介護認定の際にかかりつけ医の意見書が必要とされるなど、かかりつけ医の必要性はますます高まっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			かかりつけ医を持っていない区民(全区民の36.9%)の75.2%がかかりつけ医を必要としている。(平成9年度 区民受療行動調査)					
	今後の予測			高齢社会の進展や介護保険制度の導入などにより、かかりつけ医による日常の健康管理の必要性はますます高まっていく。					

# 平成12年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		かかりつけ歯科医機能支援				整理番号	459		
所属名		保健衛生部保健計画課保健計画係		コード	150102		上位施策名(コード)		
予算事務事業名		保健事業の推進		コード	41400		*この項目は基本計画に基づく評価の体系化後に使用する		
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 13 年度		東京都歯科医療連携推進事業実施要綱			
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他					
	区内全域の区民								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			(仮称)歯科保健・医療センターを中心とした歯科医療提供体制のシステム化の検討をすすめ、センターにかかりつけ歯科医の紹介業務を行う窓口を設置する。		活動指標名 紹介・逆紹介件数			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			すべての区民が身近なところがかかりつけ歯科医をもち、必要に応じて適切な専門医療が受けられる。		成果指標名 かかりつけ歯科医を持っている率				
意図を実現することで、施策にどのように貢献していますか 身近なところがかかりつけ歯科医をもち、必要に応じて適切な専門医療が受けられることは地域医療体制の整備につながる。									
区分		単位	10年度実績	11年度		12年度	目標値 16 年度	目標値に対する11年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標		件				300		
	活動指標								
	成果指標		%	61			70		
	成果指標								
総事業費・コスト把握	事業費		千円		944	149	684		
	職員数(正規 非常勤)		人		0.02	0.02	0.65	特記事項 活動指標は、11年度に事業が開始されたこと等により、現在数値の把握は困難である。しかし今後は13年度に100件、14年度は200件、15年度以降は300件を見込んでいる。成果指標は区民の意識調査により把握する	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	181	181	5,875		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		
	総事業費		千円	0	1,125	330	6,559		
	単位あたりコスト		千円						
	財源	受益者負担分	千円						
		その他特定財源	千円		629	99	455		
差引：一般財源		千円	0	496	231	6,104			
受益者負担比率		%							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化			11年度から歯科医師会との協議を重ねることにより、本事業の理解は徐々に深まっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)			かかりつけ歯科医を持っていない区民(全区民の38.9%)の68.5%がかかりつけ歯科医を必要としている。(平成9年度 区民受療行動調査)					
	今後の予測			13年度以降、(仮称)歯科保健・医療センターが設置されることにより、かかりつけ歯科医の紹介業務はセンターで行われることになる。					